

ニューBMW 6シリーズ カブリオレ

目次



1. 魅力的な外観、雄大な景観 ニューBMW 6シリーズ カブリオレ	2
2. 概要	11
3 デザイン: 魅力あふれる美しさ	12
4 フィン形状のソフトトップ: 完成されたフォルムで完璧に保護	17
5. ドライブ・フィーリング: 最高レベルの運動性能と安定性	19
6 ニューBMW 6シリーズ カブリオレの BMW EfficientDynamics: さらに燃費を抑え、より大きな駆けぬける歓びを提供	28
7. ニューBMW 6シリーズ カブリオレの BMW コネクテッド・ドライブ: インテリジェント・ネットワークが示す新たな方向性	33
8. 装備: 高級なオプション装備でいっそう個性的に	40
9. ニューBMW 6シリーズ カブリオレの BMW Individual: 個性的なスタイルへのこだわりをサポート	44
10. ボディおよび安全性: 頑丈さと軽さの理想的な組み合わせ	46
11. BMW 6シリーズの歩み: オープン・カーによる駆けぬける歓びの伝統	50
12 生産: 最高の品質を生む高度な精密さ	54
13 主要諸元	58

1. 魅力的な外観、雄大な景観

ニューBMW 6シリーズ カブリオレ



「息をのむほど」、「抗いがたい」、「非の打ち所がない」- これらの言葉は、BMW の歴代のカブリオレの特徴を表してきたものです。この何十年にもわたる伝統は、今も受け継がれています。ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、自動車に対する美意識が高い人たちの要望に対し、スポーティな駆けぬける歓び、高級志向、魅力あふれる外観を磨き上げて応えます。プレミアム・セグメントのクルマの中でも特に高級感あふれるカブリオレの分野で、この 2+2 シーターは最も効率の良いエンジン、最先端のサスペンション・テクノロジー、そして快適性、インフォテイメント、安全性のための極めて革新的な装備によって、人々の心を捉えます。

ロング・ノーズ、後ろ寄りのキャビン、ロング・ホイールベース、フラットなショルダー・ラインが、BMW のカブリオレならではのプロポーションをもたらしています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、これらの特徴に、独特のフィン形状を持つ伝統的なソフトトップが組み合わされています。力強いアウトラインを持つボディ表面と、意欲的に前方へと伸びるラインが織り成す躍动感は、このクルマの卓越した走りを象徴的に表現しています。贅沢な雰囲気の室内は、BMW ブランド特有の明確なドライバー志向の構成でコクピットを際立たせ、助手席と後部座席の乗員を極上の高級感で包み込みます。インテリアの高レベルの機能性は、とりわけ新設計の独立型コントロール・ディスプレイを備え、標準装備されている iDrive 操作システムによって強調されます。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、市場導入時に 2 種類のパワー・ユニットが用意されています。BMW 650i カブリオレの 8 気筒エンジンは、最高出力 300 kW(407 ps)を発生します。BMW 640i カブリオレには、BMW ツインパワー・ターボ、ダイレクト・インジェクション、バルブトロニックを採用した最上級の直列 6 気筒エンジン(最高出力 235 kW/320 ps)を新開発しました。どちらのエンジンも、8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションが標準で組み合わされています。BMW 640i カブリオレには、BMW EfficientDynamics の一部を構成するオート・スタート・ストップ(オートマチック・エンジン・スタート/ストップ)機能が標準装備されています。

この最新のエンジンは、さらに他の競合車を寄せ付けない優れたサスペンション・システムと組み合わされることで、さらに高い運動性能、先代モデルよりも明らかに向上した走行快適性をもたらします。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、ドライバーの好みに合わせて車両をチューニングすることができるダイナミック・ドライブ・コントロールを標準装備しています。また、電子制御ダンパーとアンチロール・スタビライザー機能を組み合わせたアダプティブ・ドライブをオプション設定しています。標準装備のエレクトリック・パワー・ステアリングと並んで、オプションのインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングもこのセグメントで秀逸の機能を誇ります。

競合他車には匹敵するものない BMW コネクテッド・ドライブをベースとした各種のサービスは、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの斬新なキャラクターを一層強調します。オプション装備品のドライバー・アシスタンス・システムには、リア・ビュー・カメラ、サラウンド・ビュー、歩行者検知機能付き BMW ナイト・ビジョン、BMW パーキング・アシスタントがあります。競合車の中で唯一、BMW 6 シリーズ カブリオレにはヘッドアップ・ディスプレイを装備することができます。初紹介となる新世代のシステムはカラー・パレットが拡張され、3D グラフィック描画機能を搭載し、さらに卓越した表示品質を実現しています。

デザイン：アスリートのような優美さ、わきあがるスポーツ性、魅力を放つルックス

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのボディ・デザインは、高級感と躍動感にあふれた走りを表現するため、アスリートのような優美さと自然に湧き上がるようなスポーティさを特徴としています。ロング・ノーズ、後ろ寄りのキャビン、ロング・ホイールベース、フラットなショルダー・ラインが、BMW のカブリオレ特有のプロポーションを生み出します。くっきりとしたラインと緻密に形成された面が正確に調和し、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに魅力あふれるルックスを与えています。

フロントから外側へと向かって広がり、両サイドをリア・エンドまで流れるように走るラインは、モーターボートの船首が水を切るときに生じる波が幾筋もの弧を描く姿に似ています。これに合わせるように、ボディとキャビンの移行部に当たるショルダ一面は、ボートのデッキをイメージするようにデザインされています。

勢いよく前方へと向かい、路面へと集中するフロント・エンド

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフロント・エンドは、このクルマの躍動感あふれるキャラクターを示しています。大きなサイズでやや前方に傾いた BMW キドニー・グリル(シャーク・ノーズ)は勢いよく前へと向かう姿勢を象徴し、幅広のエア・インテーク、特徴的な輪郭を描くエンジン・フード、たくましさを表現するホイール・ハウスがパワフルなエンジン性能と安定したロード・ホールディング性能を暗示しています。フロント・エプロンの外側に配置された高品質のクローム・エレメントが、車幅の広さをさらに強調します。それぞれ 3 個並んだ LED ユニットで構成されるオプションのフォグライトは、このクローム・エレメントの前側に配置されています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに標準装備されるキセノン・ヘッドライトは、BMW 特有の丸形 2 灯式となっています。ヘッドライトの上部は、標準仕様の場合はアクセント・ストリップで、またオプションのアダプティブ・ヘッドライトを組み合わせた場合は LED アクセント・ライトで区別られています。LED 式ライト・リングはデイ・ランニング・ライトとしても機能し、明るい白色光によって独特の印象を際立たせています。その下部に水平に配置されたライト・ストリップは、ターン・インジケーターの役割を受け持ちはます。

伸びやかなライン、アスリートの筋肉を想わせる曲線のサイド・ビュー

途切れることなく流れるラインは、BMW 6 シリーズ カブリオレのシルエットに伸びやかな優雅を感じさせます。そして自然の波の動きをイメージさせる力強い曲線は、サイド・ビューに湧き上がる躍動感を与えています。ドア・オーブナーの高さを流れるBMW 特有のプレス・ラインは、フロント・ホイール・ハウスに設けられたサイド・ターン・インジケーター内蔵のサイド・グリルから始まり、リア・コンビネーション・ライトまで伸びています。

もうひとつのキャラクター・ラインはフロント・フェンダーのホイール上部から始まり、波を描くように後方へ向けて一気に下降します。このラインの延長線は水平に向きを変えて、リア・エンドまで伸びています。さらにこのラインとプレス・ラインが組み合わされてダイナミックなくさび形を作り、前方へと向かう意志を強調しています。

くっきりとした V 字ラインと幅の広さを強調することで力強い印象をもたらすリア・エンド

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのリア・ビューは、幅広でフラットに揃えられた面が印象的です。水平方向のラインを多用することにより、先代モデルよりもワイドになったトレッドを一層強調しています。その他にも、下方に向けて何層も重なるよう配されたラインが、フロント・エンドと同様に路面への集中力を強調しています。この特徴的な V 字形状は、特にトランク・リッド両端のライン、ライセンス・プレート両端のライン、バンパーに組み込まれたリフレクターの輪郭の相互作用により生み出されています。やや内側に湾曲したトランク・リッド・エンド・パネルが陰影による効果を生み出し、リア・ビューに軽快さを与えています。

2分割式リア・コンビネーション・ライトはBMW 特有の L 字形状で、特にスポーティな躍動感を演出しています。内側のそれぞれ 2 個の LED ライト・ストリップは、BMW 特有のライト・デザインを表しています。ターン・インジケーターとブレーキ・ライトも LED ユニットです。

4 つの座席それぞれに適した空間をもたらすインテリア

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、2+2 シーターとして設計されています。その車内は、ドライバー、助手席、後部座席の乗員のための最適なスペースを提供します。高品質の素材、厳選されたカラー・コーディネート、そしてインテリアでも緻密に計算された面構成が、華麗さや躍動感あふれるダイナミズム、スタイリッシュな機能性を浮き上がらせる雰囲気を作り出しています。BMW 特有のインテリア・デザインを表現しているのは、ドライバー志向のコックピット構成です。iDrive 操作システムのコントロール・ディスプレイ、中央のエア吹出入口、オーディオおよびエア・コンディショナーの操作エレメントが組み込まれたダッシュボードの中央エリアは、軽くドライバー方向に傾いて配置されています。さらにギア・セレクター・スイッチ、パーキング・ブレーキ・レバー、ソフトトップ操作スイッチ、ダイナミック・ライブ・コントロールのスイッチは、ドライバーに向かって開いた形状の、助手席エリアより低くなった面に配置されています。

助手席エリアは、室内中央まで優雅な曲線を描く面で仕切られています。この面はセンター・アームレストからセンター・コンソールのサイドを通って上方に向かい、ダッシュボードへと流れ、そこから水平にドア・トリムへと達します。これにより助手席エリアはバランスよく取り囲まれ、この上ない安心感に包まれた印象を醸し出します。後部座席は 2 つのヘッドレストの間で車内に向かって軽く突き出たショルダ一面の輪郭によって、個別シートのような印象を強調しています。

初登場：フラット・スクリーン・デザインの独立型コントロール・ディスプレイ

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのメーター・パネルは、スポーツ・カー特有の丸型メーターと最新のディスプレイ技術を組み合わせ、ブラックパネル・テクノロジーを採用しています。ナビゲーション・システム、電話、エンターテイメントの各機能の操作は、標準装備の iDrive 操作システムで行います。iDrive システムのコントロール・ディスプレイは、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレにおける革新的デザインのひとつです。車載モニターとしては初めて、7 インチ・モニターが標準装備された独立型ディスプレイを採用しています。またオプションのナビゲーション・システム・プロフェッショナルとの組み合わせでは、亜鉛メッキ仕上げの高品質クローム・フレームに縁取られた 10.2 インチ・ディスプレイも用意しています。このディスプレイは薄型で、フラット・スクリーンを採用しています。従来よりも室内側、手前に配置されたコントロール・ディスプレイは、ダッシュボードの構造にも影響を及ぼします。ドライバーと助手席乗員の前に突き出たような形状は、モーターボートのコクピットのスタイルにも似ています。

この印象は、ドア・トリム・パネルの構造によってさらに強調されています。トリム表面は力強く張り詰めた印象を与え、ダッシュボードのブラックで統一された部分と同様に、内側および上方に向かって張り出しています。これによりダッシュボードへと流れるようなつながりが生まれ、運転席と助手席エリアを完全に包み込んでいます。

唯一無比で、見紛うことのない特徴：フィン形状を持つソフトトップ

モデル独自の特徴として、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレはフィン構造の電動ソフトトップを装備しています。遮音性およびフレーム剛性をさらに向上させた多層構造のソフトトップは、優れた断熱効果とオール・シーズンを快適に走行するための前提条件を提供します。ボディの左右で後方に突き出る形状のフィンは、先代モデルよりさらに力強く、エレガントに伸びるシルエットを強調し、BMW 6 シリーズ カブリオレの見紛うことなき外観的特徴となっており、ルーフ・ラインはクーペのように緩やかにリアへと伸びています。フロント・シートのすぐ後ろに垂直に配置されたヒーター付きガラス製リア・ウインドウは、ソフトトップの開閉状態に関係なく開閉することができます。

ソフトトップの自動開閉操作は、センター・コンソールに標準装備されたスイッチで行います。オプションのコンフォート・アクセス・システムは、リモート・コントロールのボタンで作動できます。オープン動作は 19 秒、クローズ動作は 24 秒で完了します。いずれの動作も、40 km/h 以下の速度であれば走行中でも作動できます。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフイン形状のソフトトップには、3 種類のカラー・バリエーションが用意されており、新色のシルバー光沢仕上げのアンソラジットは高品質の輝きを放ちます。ボディ・カラーは、ソリッド・カラーが 2 種類とメタリック・カラーが 6 種類を用意しています。シート・トリムは、標準装備のダコタ・レザーの他に 4 種類のカラー・バリエーションが用意された高級ナッパ・レザーも提供されます。希望に応じてダッシュボードの他、センター・コンソール、ドアおよび後席サイド・トリム・パネルの上部にも高級ナッパ・レザーを装備することができます。さらにオプションとして、高級ナッパ・レザー・インテリア用のコントラスト・ステッチが提供されます。これはレザー表面から浮かび上がるような配色のダブル・ステッチがアクセントとなり、高品質感を一層強調します。

シートの快適性を向上し、ラゲージ・ルーム容量を拡張可能に

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの全長は 4,894 mm で、先代モデルより 74 mm 長くなりました。ホイールベースも同じく拡張され、2,855 mm になりました。全幅は 39 mm 増えて 1,894 mm となり、全高は 9 mm 低くなつて 1,365 mm となりました。こうしたサイズ変更の結果、車両全体は明らかに力強さと同時にエレガントな印象を醸し出し、さらに空間の最適化も実現しています。全高が低くなつたにも関わらず、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは前席と後席の両方のヘッドルームが広くなっています。さらに運転席と助手席のシートは、高さ調整の範囲が広がりました。また室内幅が広くなつたことも、すべての座席ではつきりと感じられます。後席の快適性向上には、フットスペースの拡大も貢献しています。リア・シート・バックレストの傾きは先代モデルよりもさらに最適化され、BMW セダンのレベルに近いリラックスした乗車姿勢を実現しています。

オプションでリア・シート・バックレストの開口部にスキー・バッグが用意されており、スキー板なら 2 セットを収納できます。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのラゲージ・ルーム容量はソフトトップを開けているときでも 300 リッターを確保し、46 インチのゴルフ・バッグ 2 個とアタッシュケース 1 個を積み込むことができます。ルーフを閉じた場合、バリアブル・ソフトトップ・ボックスをトランク上部に簡単にたたむことができ、これによりラゲージ ルーム容量は 350 リッターに増えます。

新開発の軽量構造シート、完璧な安全装備

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、シートベルト・システムを内蔵した新開発の軽量シートを 3 種類のバリエーションで提供します。標準仕様の他に、ヘッドレスト内蔵のスポーツ・シートおよび調節機能を拡張したコンフォート・シートも用意しています。すべてのシート・バリエーションには、衝撃感応式アクティブ・ヘッドレストを装備しています。

その他の安全装備として、フロント・エアバッグ、シート・フレームに内蔵された頭部／胸部保護用サイド・エアバッグ、全座席に装備する 3 点式 ELR オートマチック・シートベルト、前席のベルト・フォース・リミッターおよびシート ベルト・テンショナー、後席の ISOFIX チャイルド・シート固定ブラケット、さらにロールオーバー・プロテクション・システムを標準装備しています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレ専用に開発されたこのシステムは、後席ヘッドレストの後ろに 2 個のアーチ型フレームを標準装備しています。セントラル・セーフティ・エレクトロニクスが横転の危険を検知すると、着火式作動機構が作動し、高剛性のアルミ製フレームが瞬時に上方に飛び出します。

使用素材および支持構造の開発の際、目的を絞り込むことにより、俊敏性と安全性にとって重要なボディ特性を最適化することができました。静的ねじり剛性は、先代モデルと比べて約 50% 高くなっています。軽量化のため、ドアおよびエンジン・フード、フロント・アクスルのスプリング・サポートはアルミ製とし、フロント・フェンダー、ソフトトップおよびトランク・リッドはグラスファイバー複合素材で製造されています。

卓越したパワー:BMW ツインパワー・ターボを装備した 8 気筒および 6 気筒エンジン

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの市場導入時に用意される 2 種類のエンジンは、すばやいパワーの立ち上がりと卓越した駆動トルクを特徴としています。エンジン・バリエーションは、V 型 8 気筒と直列 6 気筒の 2 種類です。いずれも BMW ツインパワー・ターボおよびダイレクト・インジェクション・システムを装備しています。2 つのエンジンは、スポーティなキャラクターにふさわしい突出した作動特性と模範的な効率性を実現しています。

ニューBMW 650i カブリオレに搭載された排気量 4.4 リッターの 8 気筒エンジンは、最高出力 300 kW(407 ps)/5500～6400 rpm を発生し、最大トルクは 600 Nm/750～4,500 rpm です。2 つのシリンダー・バンク間の V セクションに 2 基のターボ・チャージャーを装備した比類なきパワー・ユニットは、発進と同時にスムーズな吹け上がりを見せ、あらゆる回転域でコンスタントにパワーを上昇させます。ニューBMW 650i カブリオレは、停止状態から 100 km/h までを 5.0 秒で駆けぬけ、最高速度はエンジン・コントロールによって 250 km/h に制限しています。このトップ・モデルの EU テスト・サイクルにおける 100 km 走行あたりの平均燃料消費量は 10.7 リッターで、1 km 走行あたりの CO₂ 排出量は 249 g をマークしており、この出力クラスにおいて群を抜く効率性を実現しています。

ニューBMW 640i カブリオレに搭載する新開発の直列 6 気筒エンジンは、BMW ツインパワー・ターボおよびダイレクト・インジェクション・システムに加え、無段階可変バルブ・コントロールのバルブトロニックを装備しています。排気量 3.0 リッターのパワー・ユニットの最高出力は 235 kW(320 ps)/5,800 rpm で、最大トルクは 450 Nm/1,300～4,500 rpm に達します。このエンジン・パワーにより、BMW 640i カブリオレは発進から 100 km/h までを 5.7 秒で駆けぬけます。最高速度は同じく電子制御によって 250 km/h に制限されます。EU テスト・サイクルにおける平均燃料消費量は 100 km 走行あたり 7.9 リッターで、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 185 g です。

8速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを標準装備し、 BMW EfficientDynamicsを採用

ニューBMW 6シリーズ カブリオレに標準搭載される8速スポーツ・オートマチック・トランスミッションは、コンバーター・スリップを最小限に抑え、素早く正確なギア・チェンジを特徴としており、他の競合車には真似のできないスポーツ性、シフト快適性、効率性を融合させています。このトランスミッションは、革新的なギア・セット構成によりコンパクトな構造と軽量化を実現しながら、8つのシフト・ポジションと幅広い変速比を提供しています。この構成により優れた加速性能を実現し、しかもエンジン回転数を抑えた低燃費走行をも可能にします。ステアリング・ホイールのパドル・スイッチを使用して、マニュアル・シフトを行うこともできます。

エンジンおよび8速スポーツ・オートマチック・トランスミッションの高い効率性だけでなく、さまざまなBMW EfficientDynamicsに基づくテクノロジーも燃費向上や排出ガス削減に貢献しています。特にブレーキ・エネルギー回生システム、エレクトリック・パワー・ステアリング(EPS)、オンデマンド制御式の補機類、インテリジェント・ライトウェイト構造、低ころがり抵抗タイヤにより最高レベルの効率性を達成しています。ニューBMW 640i カブリオレでは、さらにオートマチック・エアラップ・コントロール、オート・スタート・ストップ機能を装備しています。オート・スタート・ストップ機能は、交差点や渋滞などで停車したとき、エンジンを自動的に停止させます。その後、ドライバーがブレーキ・ペダルから足を放すと直ちにエンジンが再始動します。オートマチック・ホールド機能を作動させている場合、アクセル・ペダルを操作するとエンジンが再始動します。

エレクトリック・パワー・ステアリング、オプション装備のインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングを含む最先端のサスペンション・システム

ニューBMW 6シリーズ カブリオレの最新のサスペンション・システムは、スポーティな操縦性と卓越した快適性のための理想的な前提条件を提供します。ダブル・ウィッシュボーン式フロント・アクスルとインテグラル・リア・アクスルは、その大部分にアルミ製パーツを採用しています。サスペンションは、スポーティな走りを楽しみたいドライバーに合わせた設定になっていますが、凹凸のある路面で横方向加速度が高い走行状態でも、ダンパーは柔軟に反応します。オプション装備のアダプティブ・ドライブ・システムは、ダイナミック・ダンパー・コントロールとダイナミック ドライブのアクティブ・アンチロール・スタビライザーにより、さらに正確なハンドリングに貢献します。電子制御ダンパーは、好ましくない挙動を回避するため、路面状態や走行スタイルを考慮してアクティブに制御されます。アンチロール・スタビライザーは、特に高速でコーナリングする場合や突然の方向変換の際の横方向の傾きを低減させます。

BMW 6 シリーズ カブリオレは、このセグメントで他に類を見ないサポートロニック機能を備えたエレクトリック・パワー・ステアリング (EPS) により、BMW 特有の正確さ、快適性、効率性を実現します。さらにニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、このクラスで初めてインテグレイティッド・アクティブ・ステアリングをオプション装備することのできるモデルです。インテグレイティッド・アクティブ・ステアリングは、すでに先代モデルに提供されたフロントのアクティブ・ステアリングに加え、リア・アクスルも操舵が可能になっています。この場合、フロントとリアの両方の切れ角とパワー・アシスト量を電気モーターで制御します。前後のホイール角度を正確に調整することで、ダイナミックな走行状況での非常に優れた俊敏性を実現します。カーブの多い山道や市街地走行でも、インテグレイティッド・アクティブ・ステアリングは秀でた旋回能力を発揮します。

車両のサスペンション設定を選択できるダイナミック・ドライブ・コントロール

ダイナミック・ドライブ・コントロールは、サスペンションの設定について、スポーティか快適性重視かを状況に応じて切り替えることができます。ドライバーはセンター・コンソールのスイッチで、車両の走行特性に関する設定を「NORMAL」、「SPORT」、「SPORT+」のモードから選択できます。オプションのアダプティブ・ドライブを組み合わせた場合は、さらに「COMFORT」モードが加わります。「COMFORT」モードでは、ダイナミック・ドライブ・コントロールの標準仕様の設定に含まれるアクセル・ペダルの応答特性、エンジンの応答特性、ステアリング・アシストの特性曲線、DSC の作動限界値、オートマチック・トランスミッションのシフト特性に加え、ダンパーとアンチロール・スタビライザーの特性マップを制御します。インテグレイティッド・アクティブ・ステアリングを装備した場合、さらにステアリング・アシスト用の基本設定も、モードに応じて変化します。そのため、「SPORT」および「SPORT+」モードでさらにスポーティな走行特性にすることができます。

ベンチレーテッド・ディスクおよびフローティング・キャリパーを装備した軽量ブレーキ・システムは、快適かつ正確な制動力配分が可能です。ブレーキングの作動は、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) によりサポートされます。ダイナミック・スタビリティ・コントロールには、アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)、ダイナミック・トラクション・コントロール (DTC)、コーナリング・ブレーキ・コントロール (CBC)、ダイナミック・ブレーキ・コントロール (DBC)、坂道発進アシスタント、ドライ・ブレーキ機能、フェード補正機能が含まれます。そのほかの標準装備として、ニューBMW 650i カブリオレには 18 インチ・アロイ・ホイールが、ニューBMW 640i カブリオレには 17 インチ・アロイ・ホイールが装備され、それぞれにランフラット・タイヤとタイヤ・パンク表示 (RPA) 機能も提供されます。

高品質の快適関連装備品、BMW コネクテッド・ドライブが提供する極上の機能性

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの快適性に関する標準装備品には、2 ゾーン・オートマチック・エアコンディショナー(カブリオレ・モード付き)、HiFi オーディオ・システム(CD プレーヤーおよび外部入力用 AUX 端子付き)、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、前席電動調節式シート(メモリー機能付き)、レイン・センサー(オートマチック・ヘッドライト・コントロール内蔵)が含まれます。オプション装備品には、アダプティブ・ヘッドライト、ステアリング・ホイール・ヒーター、ベンチレーション・シート、アクティブ・シート、ナビゲーションの地図データおよびミュージック・コレクション保存用ハードディスクを搭載するナビゲーション・システム・プロフェッショナルなどがあります。

さらに充実した機能を提供するサービスとして、BMW コネクテッド・ドライブのドライバー・アシスタンス・システムやモビリティ・サービスが用意されています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、車線変更警告システム、車線逸脱警告システム、スピード・リミット・インフォ(速度制限情報)、歩行者検知機能付きBMW ナイト・ビジョン、リア・ビュー・カメラ、サラウンド・ビュー、BMW パーキング・アシスタントを装備することができます。革新的なテクノロジーとしては、アップル社の iPhone などのスマートフォンやミュージック・プレーヤーの統合機能があります。また車内でのインターネット利用が可能で、その他に BMW コネクテッド・ドライブでは、スマートフォンで受信した E メール・メッセージをコントロール・ディスプレイに表示したり、ナビゲーションおよびエンターテイメント用のインターネット・ベースのサービスを利用したりすることができます。

さらにニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、このクラスで初めてとなる新世代ヘッドアップ・ディスプレイが提供されます。このシステムは、走行に関連する情報をフロント・ウインドウのドライバーからすぐに見える位置に投影します。3D グラフィックを表示するためのカラー・パレットが拡張され、交通標識などは実物そっくりに表示できます。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレ：他では味わえない駆けぬける歓び、輝かしい伝統

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの導入により、世界で最も成功したプレミアム・カー・メーカーである BMW は、輝かしい伝統を受け継いで未来へと伝えます。BMW のオープン・スポーツ・カー以外では味わえない駆けぬける歓びの魅力は、70 年以上も前から少しも色褪せることはありません。オープン・スポーツ・モデルの長きに渡る伝統は、1940 年にミッレミリアを制したレース・マシンのベースとなった伝説の BMW 328 から始まり、1950 年代にドリーム・カーと呼ばれた BMW 507 を経て、ダイナミックな進歩を遂げたニューBMW 6 シリーズ カブリオレの先代モデルへと至ります。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、BMW ディングルフィン工場で生産されます。この BMW グループ中で最大の生産工場では、BMW 7 シリーズと BMW 5 シリーズも製造されています。この地での柔軟で効率的な生産方法と、最新の製造テクノロジー、ハンドメイドのような正確さを重視する品質基準を結びつけることにより、顧客の希望に応じて個別に構成されたプレミアム・カーが誕生します。



2. 概要

- ラグジュアリー・クラスの BMW 6 シリーズ カブリオレのニュー・バージョン、新たに定義された美しさ、プレミアム・オープン・カーのスタイリッシュな容姿と駆けぬける歓び
- スペースを大幅に拡張し、革新的な装備品を備え、運動性能と走行快適性を著しく向上させたオープン・トップ 2+2 シーター
- さらに進化を遂げた特徴あるソフトトップ、フィン形状のデザインと下降式リア・ガラス・ウインドウを装備
- 市場導入時点で 2 つのエンジン・バリエーションを提供: 8 気筒エンジン(300 kW/407 ps)搭載の BMW 650i カブリオレ、直列 6 気筒エンジン(235 kW/320 ps)搭載の BMW 640i カブリオレ
- いずれのエンジン・バリエーションにも 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを標準装備、このセグメントで唯一の BMW EfficientDynamics テクノロジー(BMW 640i カブリオレのオート・スタート・ストップ機能を含む)
- 新開発のサスペンション・システム、このセグメントで唯一、エレクトリック・パワー・ステアリング、インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング(オプション)を装備、ダイナミック・ドライブ・コントロールを標準装備、アダプティブ・ドライブをオプション設定
- 標準装備の独立型コントロール・ディスプレイ付き BMW iDrive 操作システム、比類ない機能を提供する BMW コネクテッド・ドライブ(3D マルチカラー・グラフィックによる最新世代のヘッドアップ・ディスプレイ、リア・ビュー・カメラ、スピード・リミット・インフォ、BMW ナイト・ビジョン、パーキング・アシスタントを含む)
- エンジン・バリエーション:
BMW 650i カブリオレ:BMW ツインパワー・ターボ、ダイレクト・インジェクションを備えた V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、
排気量: 4395cc、最高出力: 300kW (407ps)/5,500 ~ 6,400rpm、最大トルク: 600Nm/750 ~ 4,500rpm、0-100km/h 加速性能: 5.0 秒、最高速度: 250 km/h、EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量: 10.7 リッター/100km、EU テスト基準による CO₂ 排出量: 249g/km、排ガス基準: EU5
- **BMW 640i カブリオレ:**BMW ツインパワー・ターボ、ダイレクト・インジェクションおよびバルブトロニックを備えた直列 6 気筒ガソリン・エンジン、
排気量: 2,979cc、最高出力: 235 kW(320ps)/5,800rpm、最大トルク: 450Nm/300 ~ 4,500rpm、0-100km/h 加速性能: 5.7 秒、最高速度: 250km/h、EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量: 7.9 リッター/100km、EU テスト基準による CO₂ 排出量: 185g/km、排ガス基準: EU5



3. デザイン： 魅力あふれる美しさ

- 跳動感にあふれ、優美で伸びやかなプロポーション
- 波の動きを模して正確に形成された面構成によって生み出される、湧き上がるフィーリング、スポーティな印象
- ゆったりとしたインテリアと特色ある個別シート、高級感のあるフラット・スクリーンのコントロール・ディスプレイ

ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、駆けぬける歓びというBMW特有のスタイルをオープン・カーで具現化するクルマです。そのボディ・デザインは高級感とダイナミックなドライブ・フィーリングを表現しており、躍動感にあふれ、感性に訴える優美さとスポーティなキャラクターを伝えます。インテリアはこの上ない安心感を漂わせながらも、BMW特有の明確にドライバー志向のコクピットを際立たせ、上質な機能性は感動を呼び起します。ボディとルーフが明確に分離されたデザインは、ボディとソフトトップ似採用したコントラスト・カラーによってさらに強調されています。ソフトトップを開けているときは、高品質のクローム・フレームで縁取られたブラックのインテリア・トリム・ラインが、エクステリアとインテリアをつなぐ部を印象的に強調します。

ロング・ノーズ、ロング・ホイールベース、後ろ寄りのキャビン、そしてフラットなショルダー・ラインは、BMWのカブリオレ特有のプロポーションを生み出します。ソフトトップのフィン構造により、ルーフを閉じているときでもこのプロポーションが維持されています。ニューBMW 6シリーズ カブリオレの全長は4,894 mmで、先代モデルより74 mm長くなっています。同じく全幅は39 mm増えて1,894 mmとなり、全高は9 mm低くなって1,365 mmとなりました。さらに、このオープン・ルーフ 2+2シーターのホイールベースは75 mm増えて2,855 mmとなっています。

フロントからボディ全体にわたって流れる特徴的な水平ラインと、シャープに、力強く形成された面の構成が、ニューBMW 6シリーズ カブリオレにダイナミックな躍動感を与えていきます。フロントから外側へと向かうラインと、それに調和するように構成された曲面が、モーターボートが水を切るときに生じる曳き波の動きを表現しています。これに合わせるように、ボディとキャビンをつなぐ部分のショルダー面は、ボートのデッキをイメージするようにデザインされています。ブラックを基調としたインテリア・トリム・ラインは室内全体を取り巻くように囲み、高品質のクローム・フレームがこれをくっきりと浮かび上がらせています。このクローム・ラインは、車両後方ではさらに、オープン・ルーフ時にも識別できるソフトトップのフィン構造の特徴的なフォルムを際立たせます。

勢いよく前方へと向かい、路面へと集中するフロント・エンド

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフロント・エンドは、このクルマの躍動感あふれるキャラクターを示しています。大きく傾いたAピラーが、パッセンジャー・セルを極めてフラットに見せる効果を発します。大きなサイズでやや前方に傾いた BMW キドニー・グリル(シャーク・ノーズ)は勢いよく前へと向かう姿勢を象徴し、幅広のエア・インテーク、特徴的な輪郭を描くエンジン・フード、たくましさを表現するホイール・ハウスがパワフルなエンジン性能と安定したロード・ホールディング性能を暗示しています。キドニー・グリル内側のバーは、クローム・メッキ(BMW 650i カブリオレ)、あるいは内側がブラックで前面にクローム・メッキを施しており(BMW 640i カブリオレ)、上部にやや角度をつけることで、前方へと進もうとする意志を表現しています。

エンジン・フードのアウトラインは前方へと伸びやかに志向し、ヘッドライトとキドニー グリルの輪郭、ロア・エア・インテー外側のエッジによって V 字形を形成し、路面に集中する姿勢を印象付けています。フロント・エプロンの外側に配置された高品質のクローム・エレメントが、さらにその下に配された光るエッジとの相乗効果によりホイール・ハウスへと視線を導き、車幅をさらに強調します。それぞれ 3 個並んだ LED ユニットで構成されるオプションのフォグライトは、このクローム・エレメントの前側に配置されています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに標準装備されるキセノン・ヘッドライトは、BMW 特有の丸形 2 灯式となっています。ヘッドライトの上部は、標準仕様の場合はアクセント・ストリップで、またオプションのアダプティブ・ヘッドライトを組み合わせた場合は LED アクセント・ライトで区切られています。LED 式ライト・リングはデイ・ランニング・ライトとしても機能し、明るい白色光によって独特の印象を際立たせています。その下部に水平に配置されたライト・ストリップは、ターン・インジケーターの役割を受け持ちます。

伸びやかなライン、アスリートの筋肉を想わせる曲線のサイド・ビュー

途切れることなく流れるラインは、BMW 6 シリーズ カブリオレのシルエットに伸びやかな優雅を感じさせます。そして自然の波の動きをイメージさせる力強い曲線は、サイド・ビューに湧き上がる躍動感を与えていています。ヘッドライトからフロント・ホイール・ハウスを経由して緩やかに伸びる曲線は、そのままショルダー・エリアへと続いています。さらにそこからほぼ水平に、まっすぐリアまで伸びやかな直線で続いています。これと平行するように、ドア・オープナーの高さをプレス・ラインが走っています。このラインは、フロント・ホイール・ハウスに設けられたサイド・ターン・インジケーター内蔵のサイド・グリルから始まり、リア・コンビネーション・ライトまで伸びています。力強く盛り上がったリア・ホイール・ハウス付近では、面構成とラインの流れが織り成す非常に繊細なバランスを見せており、外側に膨らんだフェンダーの影響でプレス・ラインの印象が弱められています。

もうひとつのキャラクター・ラインはフロント・フェンダーのホイール上部から始まり、波を描くように後方へ向けて一気に下降し、その後水平に向きを変えてリア・エンドまで伸びています。さらにこのラインとプレス・ラインが組み合わされてダイナミックなくさび形を作り、前方へと向かう意志を強調しています。ここでは、キャラクター・ラインとドア・シルのラインとによってくっきりとしたエッジが形成されています。これにより、周囲に配された繊細なエッジとの相乗効果が生まれ、ボディ下部のこのエリアにスポーティで軽快な印象をもたらしています。

くっきりとした V 字ラインと幅の広さを強調することで力強い印象をもたらすリア・エンド

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのリア・ビューは、幅広でフラットに揃えられた面が印象的です。水平方向のラインを多用することにより、先代モデルよりもワイドになったトレッドを一層強調しています。その他にも、下方に向けて何層も重なるよう配されたラインが、フロント・エンドと同様に路面への集中力を強調しています。この特徴的な V 字形状は、特にトランク・リッド両端のライン、ライセンス・プレート両端のライン、バンパーに組み込まれたリフレクターの輪郭の相互作用により生み出されています。BMW 6 シリーズ特有の低い位置にあるライセンス・プレートのフレームも、視覚的に重心位置を下げる効果をもたらします。

やや内側に湾曲したトランク・リッド・エンド・パネルが陰影による効果を生み出し、リア・ビューに軽快さを与えています。リア・エンド下部のディフューザー形状の両サイドには、エグゾースト・テール・パイプがあります。このテール・パイプは、BMW 650i カブリオレが台形、BMW 640i カブリオレは円形となっています。

2分割式リア・コンビネーション・ライトはBMW特有の L 字形状で、幅が広く、トランク・リッドを大きく囲むように配されています。側面からリア・コンビネーション・ライトに流れ込むようにプレス・ラインがあり、サイドとリア・エンドをバランスよく結び付けています。内側のそれぞれ2個のLEDライト・ストリップは、BMW特有のライト・デザインを表しています。この効果は、内部におかれた L 字形の光源によってさらに強調されています。ターン・インジケーターとブレーキ・ライトもLEDユニットです。幅広のハイマウント・ブレーキ・ライトは、トランク・リッド上端部に組み込まれています。

4 つの座席それぞれに適した空間をもたらすインテリア

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、2+2 シーターとして設計されています。その車内は、ドライバー、助手席、後部座席の乗員のための最適なスペースを提供します。高品質の素材、厳選されたカラー・コーディネート、そしてインテリアでも緻密に計算された面構成が、華麗さや躍動感あふれるダイナミズム、スタイリッシュな機能性を浮き上がらせる雰囲気を作り出しています。このゆったりとした空間は、水平志向のダッシュボードによってさらに強調されています。運転席側エア吹出し口の下にある亜鉛メッキされたインテリア・トリムは、この構造をさらに際立たせるように助手席側グローブ・ボックス・カバーに形成されたエッジへと続いています。

BMW 特有のインテリア・デザインを表現しているのは、ドライバー志向のコックピット構成です。iDrive 操作システムのコントロール・ディスプレイ、中央のエア吹出し口、オーディオおよびエア・コンディショナーの操作エレメントが組み込まれたダッシュボードの中央エリアは、軽くドライバー方向に傾いて配置されています。さらにギア・セレクター・スイッチ、パーキング・ブレーキ・レバー、ソフトトップ操作スイッチ、ダイナミック・ドライブ・コントロールのスイッチは、ドライバーに向かって開いた形状の、助手席エリアより低くなった面に配置されています。

助手席エリアは、室内中央まで優雅な曲線を描く面で仕切られています。この面はセンター・アームレストからセンター・コンソールのサイドを通って上方に向かい、ダッシュボードへと流れ、そこから水平にドア・トリムへと達します。これにより助手席エリアはバランスよく取り囲まれ、この上ない安心感に包まれた印象を醸し出します。オプションで用意されているコントラスト・カラーのシームをあしらうことにより、この平面はさらに強調されます。後部座席は2つのヘッドレストの間で車内に向かって軽く突き出たショルダ一面の輪郭によって、個別シートのような印象を強調しています。

初登場：フラット・スクリーン・デザインの独立型コントロール・ディスプレイ

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのメーター・パネルは、スポーツ・カー特有の丸型メーターと最新のディスプレイ技術を組み合わせ、ブラックパネル・テクノロジーを採用しています。イグニッションがオフのとき、メーター・パネルは一様に黒く、丸型メーターのクローム・フレーム、指針、数字と目盛り、そしてタコメーターの赤い警告ゾーンだけが見えています。メーター・パネル下部に配置されている高解像度の 9.2 インチ・ディスプレイには、積算走行距離、燃費、エネルギー回生状態を示すインジケーター、ドライバー・アシスタンス・システムの操作状況、さらにチェック・コントロール・メッセージが表示されます。これらはメーター・パネルに内蔵された警告灯や表示灯と同じく、エンジン・スイッチをオンにすると表示されます。ニューBMW 7 シリーズで初めて採用されたブラックパネル・テクノロジーは、ダッシュボード中央のオートマチック・エアコンディショナー用のディスプレイにも使用されています。

ナビゲーション・システム、電話、エンターテイメントの各機能の操作は、標準装備の iDrive 操作システムで行います。iDrive システムのコントロール・ディスプレイは、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレにおける革新的デザインのひとつです。車載モニターとしては初めて、薄型フラット・スクリーンの 7 インチ・モニターが標準装備された独立型ディスプレイを採用しています。オプションのナビゲーション・システム・プロフェッショナルとの組み合わせでは、亜鉛メッキ仕上げの高品質クローム・フレームに縁取られた 10.2 インチ・ディスプレイが装備されます。従来よりも室内側、手前に配置されたコントロール・ディスプレイは、ダッシュボードの構造にも影響を及ぼします。ドライバーと助手席乗員の前に突き出たような形状は、モーターボートのコックピットのスタイルにも似ています。

この印象は、ドア・トリム・パネルの構造によってさらに強調されています。トリム表面は力強く張り詰めた印象を与え、ダッシュボードのブラックで統一された部分と同様に、内側および上方に向かって張り出しています。これによりダッシュボードへと流れのようなつながりが生まれ、運転席と助手席エリアを完全に包み込んでいます。

ドア・トリム・パネルは、リアのショルダーパネルから始まるコントラスト・カラーのトリム・パネルで分割され、前方へ向かいながらダッシュボードへと達します。

比類のない特徴：ボディ・カラー、ソフトトップ・カラー、インテリア・デザイン

ニューBMW 6シリーズ カブリオレのソフトトップには、3種類のカラーが用意されています。ブラックとベージュの他に、新しいカラー・バリエーションとしてシルバー光沢仕上げのアンソラジットが高品質な輝きを放ちます。ボディ・カラーは、ソリッド・カラーが2種類とメタリック・カラーが6種類を用意しています。新たにプログラムに加えられたのは、メタリック調のバーミリオン・レッド、ハバナ・ブラウン、オリオン・シルバーです。

標準装備のブラック、アイボリー・ホワイト、シナモン・ブラウンのダコタ・レザーの他に、バーミリオン・レッドの高級ナッパ・レザー仕様が提供されます。インテリア・カラーは、ブラックまたはアイボリー・ホワイトと組み合わせることができます。その場合、トリム・ストリップは、ダイヤモンド・ブラック、ブラッシュド・アルミ、高級ポプラ・ウッド(ハイグロス・グレー)、高級アメリカン・オーク・ウッド(ハイグロス)の4種類から選べます。

4. フィン形状のソフトトップ： 完成されたフォルムで完璧に保護



- クーペ特有のスタイル、流れるようなルーフ・ライン
- 高レベルの遮音・断熱効果、走行中でもリモート・コントロールでも操作可能な開閉動作、省スペース設計のバリアブル・ソフトトップ・ボックス
- 独立して開閉可能なヒーター付きリア・ウインドウ

モデル独自の特徴として、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレはフィン構造の電動ソフトトップを装備しています。これはBMWのカブリオレの伝統的なスタイルを具現化したもので、軽量化にも貢献しており、また後席エリアとラゲージ・ルームの間に配置されたソフトトップ収納ボックスにコンパクトに収まります。ボディの左右で後方に突き出る形状のフィンは、先代モデルよりさらに力強く、エレガントに伸びるシルエットを強調し、BMW 6 シリーズ カブリオレの見紛うことなき外観的特徴となっており、ルーフ・ラインはクーペのように緩やかにリアへと伸びています。

遮音性およびフレーム剛性をさらに向上させた多層構造のニューBMW 6 シリーズ カブリオレのソフトトップは、優れた断熱効果とオール・シーズンを快適に走行するための前提条件を提供します。ソフトトップの外側と内張りの間に遮音性と断熱効果の高いポリウレタン(PU)層を挟み込んでいます。内側に縫い目のないルーフ内張りは、室内に調和の取れた、ゆったりとした雰囲気を演出します。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフィン形状のソフトトップには、3 種類のカラー・バリエーションが用意されています。ブラックとベージュの他に、新しいカラー・バリエーションとして高品質の輝きを放つシルバー光沢仕上げのアンソラジットがオプションで提供されます。

フル・オートマチック・ソフトトップ・メカニズム： 走行中でもリモート・コントロールでも操作が可能

ソフトトップの自動開閉操作は、センター・コンソールに標準装備されたスイッチで行います。オープン動作は 19 秒、クローズ動作は 24 秒で完了します。いずれの動作も、40 km/h 以下の速度ならば走行中でも作動できます。このとき同時にフロントとリアのサイド・ウインドウも自動で下降し、上昇します。このウインドウの連動機能は、運転席ドアの専用スイッチでオン／オフできます。さらにウインドウのオープン操作は、車両から 30 m 以内の距離であれば、リモート・コントロール・キーを使って作動させることができます。

オプションのコンフォート・アクセス・システムを装備すると、リモート・コントロールでソフトトップを操作することもできます。その場合、車両からの距離は 1.5 m 以内に制限されています。また、リモート・コントロールでサイド・ウインドウを閉める場合も、車両からの距離は 1.5 m 以内に制限されています。

オープン動作時には、ソフトトップはコンパクトに、決められたプロセスに従って正確に折りたたまれ、ソフトトップ収納ボックスに収まります。バリアブル・ソフトトップ・ボックスには格納機構も備わっており、ルーフを閉じて走行する際のラゲージ・ルーム容量を拡大することができます。ラゲージ・ルーム内に装備されているグリップを使って、ソフトトップ・ボックスを上方に収納することができます。これにより、荷物用のスペースが最大 50 リッター増えます。

独立して操作可能なリア・ウインドウにより、外気の供給量を正確に調整可能

フロント・シートのすぐ後ろに垂直に配置されたヒーター付きガラス製リア・ウインドウは、ソフトトップの開閉状態に関係なく独立して開閉することができます。こうすることでソフトトップ・ボックス内に収納する必要のあるルーフのサイズが小さくでき、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフラットなリア・エリアに荷物用のスペースを増やすこともできます。リア・ウインドウは専用の操作機構を備えており、必要に応じて外気を取り込むこともできます。たとえばソフトトップを閉じているときに車内を快適に換気するため、リア・ウインドウを開けることができます。また、ルーフを開けているときにリア・ウインドウを上げておくと、後席に巻き込む気流を抑えることができます。

オプション装備品のウインド・ディフレクターは、室内への空気の巻き込みを大幅に低減させます。これはニューBMW 6 シリーズ カブリオレの後席に簡単に固定することができます。ウインド・ディフレクターの上部フレームは手動で立てたり倒したりすることができます。ウインド・ディフレクターは完全に折りたたんで、付属のバッグに入れてラゲージ・ルームに収納できるので場所を取りません。

5. ドライブ・フィーリング： 最高レベルの運動性能と安定性



- BMW ツインパワー・ターボを装備した、出力 300 kW(407 ps)のV型 8 気筒エンジン、および出力 235 kW(320 ps)の直列 6 気筒エンジン
- 最先端のサスペンション・システム、ダイナミック・ドライブ・コントロールを標準装備
- セグメントで唯一：インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング、アダプティブ・ドライブ

躍动感あふれるデザインと先進のテクノロジーが、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのキャラクターを浮き立たせます。このクルマはひと目で見分けることができ、走るほどにそのキャラクターをますます浮き彫りにします。そのデザインは、停止しているだけで視線を釘付けにしますが、このフォルムから解き放たれる美しさは走行しているときにこそ明瞭に現れます。このクルマの走行性能値は、突出したスポーツ性能を明確に誇示していますが、ドライブトレインおよびサスペンション・システムの本来の実力は、もちろん実際に走行することはじめて理解できるのです。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの市場導入時に用意されるエンジンは、BMW 特有のスポーティな出力特性、競合車を圧倒する効率性の高さを特徴としています。エンジン・バリエーションは、V型 8 気筒と直列 6 気筒の 2 種類です。いずれも BMW ツインパワー・ターボおよびダイレクト・インジェクション・システムを装備しています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、このセグメントで初めて 8 速オートマチック・トランスミッションを標準装備します。最先端のサスペンション・システムは、先代モデルと比べて運動性能を向上し、走行快適性も大幅に高めています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、車両のサスペンション設定を細かく調整可能なダイナミック・ドライブ・コントロールを標準装備しています。また、電子制御ダンパーとアンチロール・スタビライザー機能を組み合わせたアダプティブ・ドライブをオプション設定しています。標準装備のエレクトリック・パワー・ステアリング、オプション装備のインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングは、このセグメントで並ぶものはない装備です。

最高の運動性能を発揮する卓越したパワー：BMW 650i カブリオレには BMW ツインパワー・ターボを装備した V型 8 気筒エンジンを搭載

すばやいパワーの立ち上がり、卓越した駆動トルク、優れた作動特性、模範的な効率性が、トップ モデル BMW 650i カブリオレに搭載される V型 8 気筒エンジンの特徴です。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーとダイレクト・インジェクション・システムを組み合わせた排気量 4.4 リッターの 8 気筒エンジンは、最高出力 300 kW(407 ps)/5,500~6,400 rpm を発生し、最大トルクは 600 Nm/750~4,500 rpm です。

2つのシリンダー・バンク間のVセクションに2基のターボ・チャージャーと触媒コンバーターを装備した比類なきパワー・ユニットは、発進と同時にスムーズな吹け上がりを見せ、あらゆる回転域でコンスタントにパワーを上昇させます。この革新的なデザインのオール・アルミ製エンジンは、コンパクトなサイズだけでなく、モデルに応じた吸排気ダクトのレイアウトを可能にしました。パイプの長さを短縮し、断面積を拡大することで、インテーク側とエグゾースト側の圧力損失を最小限に抑えています。2基のターボ・チャージャーからは、それぞれ4個のシリンダーに過給気を供給します。これにより、アクセル・ペダルの操作に対するこれまでにないほどの優れたレスポンスを実現し、低回転域からでも大きな駆動トルクを発揮します。ニューBMW 650i カブリオレの0-100 km/h 加速性能値は5.0秒で、高速走行時にも驚くほどの余力を持っています。最高速度はエンジン・コントロールによって250 km/hに制限されています。

この出力クラスのV型8気筒エンジンでは他に類を見ないほどの効率の良さは、極めて正確に制御されたダイレクト・インジェクションによって実現しています。吸排気バルブの中央、点火プラグのすぐ横に配置されたインジェクターによるスプレー・ガイド式インジェクションの原理は、精密な燃料供給を行うための理想的な前提条件を提供します。BMWツインパワー・ターボ・テクノロジーとダイレクト・インジェクションの組み合わせにより、排気量4.4リッターのV8エンジンは、従来ならば明らかに排気量が大きい10気筒や12気筒の自然吸気式エンジンの出力レベルに達しており、さらに軽量化と、燃費および排出ガスの大幅な削減を実現しています。ニューBMW 650i カブリオレのEUテスト・サイクルにおける100 km走行あたりの平均燃料消費量は10.7リッターで、1 km走行あたりのCO₂排出量は249 gという群を抜く効率性を達成しています。

滑らかな吹け上がりと効率性の理想的な組合せ：BMW 640i カブリオレにはBMWツインパワー・ターボを装備した直列6気筒エンジンを搭載

ニューBMW 640i カブリオレに搭載する新開発の直列6気筒エンジンは、BMWツインパワー・ターボおよびダイレクト・インジェクション・システムに加え、無段階可変バルブ・コントロールのバルブトロニックを装備しています。排気量3.0リッターのパワー・ユニットが生み出す最高出力は235 kW(320 ps)/5,800 rpmで、最大トルクは450 Nm/1,300~4,500 rpmに達します。

この6気筒エンジンでも、BMWツインパワー・ターボ・テクノロジーとダイレクト・インジェクションが組み合わされており、非常に効率が良く、滑らかに吹け上がります。ツイン・スクロール方式によるターボ過給システムは、エグゾースト・マニホールドからターボ・チャージャー内部までをそれぞれ3つのシリンダー毎にダクトを分離し、極めて低回転域からでも滑らかにパワーを発生し、アクセル・ペダル操作に対してすばやいレスポンスを実現しています。BMWの直列6気筒エンジン特有の滑らかな回転と共に、魅力あふれるスポーティな出力特性をもたらします。

さらに可変バルブ・コントロールのバルブトロニックを採用しており、エンジン応答特性も向上しています。バルブトロニックは吸気バルブのリフト量を無段階に制御するシステムで、従来のエンジンには必要だったスロットル・バタフライを使用しません。充填サイクルでのポンピング・ロスを最小限に抑えることで、エンジン効率とトルク増大に効果を発揮します。

出力およびトルクを向上させるため専用開発されたこの直列 6 気筒エンジンにより、ニュー BMW 640i カブリオレは静止状態から時速 100 km/h までを 5.7 秒で駆けぬけます。BMW 640i カブリオレの最高速度は、電子制御により 250 km/h に制限されています。EU テスト・サイクルにおける平均燃料消費量は 100 km 走行あたり 7.9 リッターで、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 185 g です。

8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを標準装備：最高のシフト快適性、素早く正確なギア・チェンジ、ステアリング・ホイールのパドル・スイッチ

BMW 6 シリーズ カブリオレに搭載された 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションは、他の競合車には真似のできないスポーツ性、シフト快適性、効率性が融合しています。BMW 640i カブリオレのオートマチック・トランスミッションの場合は、さらに交差点での信号待ちや渋滞の際に自動的にエンジンを停止にするオート・スタート・ストップ機能も装備されています。

この 8 速オートマチック・トランスミッションは、革新的なギア・セット構成を特徴としています。先代モデルに搭載していた 6 速オートマチック・トランスミッションよりもギア段数が増え、ギア比の幅が広がったにもかかわらず、そのサイズ、重量、内部効率性に悪影響はありません。8 段の前進ギアとリバース・ギアは、4 つのシンプル・ギア・セットと 5 つのシフト・エレメントによって実現しています。世界で初めて 8 速オートマチック・トランスミッションに採用されたこのコンポーネント構成では、全部で 5 個のクラッチを各ギアで 2 個のみ開くため、これまで市場に導入されたオートマチック・トランスミッションと比べて動力損失を大幅に低減することができます。

ギアが 8 段に増えたことにより、最小ギアと最大ギアの間の変速比の幅は拡張されていますが、変速時の回転数の変化はわずかです。加速中は調和の取れた変速比の組み合わせにより、極めて安定した加速を実現します。6 速オートマチック・トランスミッションよりさらに短くなった応答時間やシフト時間は、快適性と運動性能の両方にプラスの効果をもたらします。シフト・アップまたはシフト・ダウンの際には、それぞれ 1 個のクラッチが開くだけです。目的のギアに直接シフトできるため、2 段以上のギアを飛び越えて、驚くべき速さでギア・チェンジを行います。一気に加速する(キックダウン)際に通常行われる 8 速ギアから 2 速ギアへのシフト・ダウンも、同様にダイレクトにシフトされるので、このときに開くクラッチは 1 個のみです。

8速スポーツ・オートマチック・トランスミッションは、センター・コンソールに独立して配置されたギア・セレクター・スイッチで操作します。このギア・セレクター・スイッチは走行プログラムを選択するものですが、マニュアル・シフト操作もきます。SPORTモードでは、シフト・プロセスが最高のパフォーマンスを発揮できるように設計されています。クラッチ・コントロールが改良されたことで、エンジン回転数の変動も非常に素早く、シフト時間が最小になります。

マニュアル・シフト・プログラムでは、ギア・セレクター・スイッチを押したり引いたりすることで連続してギア・チェンジを行うことができます。ニューBMW 6シリーズ カブリオレでは、ステアリング・ホイールのパドル・スイッチを使用してシフトすることもできます。この操作の原理は、BMW Mモデルに採用されているものと同じです。シフト・アップは右のパドルで、シフト・ダウンは左のパドルで行います。パドル・スイッチはステアリング・ホイールに固定されています。そのため、ドライバーはコーナリング時にもステアリング・ホイールから手を離さずにギア・チェンジを行うことができます。

最先端のサスペンション・システムにより、快適性を犠牲にすることなく最大限の運動性能を実現

ニューBMW 6シリーズ カブリオレの最新のサスペンション・システムは、スポーティな操縦性と卓越した快適性のための理想的な前提条件を提供します。ダブル・ウィッシュボーン式フロント・アクスルとインテグラル・リア・アクスルは、その大部分にアルミ製パーツを採用しています。サスペンションは、スポーティな走りを楽しみたいドライバーに合わせた設定になっていますが、凹凸のある路面で横方向加速度が高い走行状態でも、ダンパーは柔軟に反応します。またフロント・アクスルとリア・アクスルは、車両のロール(左右への傾き)の軸が路面に対してほぼ平行になるように設計されています。これにより非常にバランスの良い、安定したコーナリング走行を可能にし、対角線方向のロール動作による影響を及ぼしません。

正確に調整されたホイール・キャンバーにより、フロント・アクスルのメカニズムは路面とタイヤの最適な接地状態を保証します。これにより高い横力の伝達を可能にし、極めてスポーティな走行特性と快適なサスペンション・セッティングも実現しています。またステアリングに対する外部からの干渉による影響も最小限に抑えます。

ニュー6シリーズ カブリオレのインテグラル・リア・アクスルは、サスペンションに作用する駆動力や動的な力を、ホイール・キャリア、リア・アクスル・キャリア、スイング・アーム、3本のコントロール・アームを介して吸収します。スイング・アームには新たに弾性マウントが装着され、前後方向の衝撃を後方へ逃がします。これによりスイング・アームのラバー・マウントに作用する力は、半径方向と軸方向にはっきりと分離されます。路面とドライブトレインからサスペンションを効果的に連結解除することで、リア・アクスルはさらに最高レベルの音響快適性と振動快適性を実現します。

最高のゆとりある走行特性のためのオプション:アダプティブ・ドライブ

オプション装備のアダプティブ・ドライブ・システムは、ダイナミック・ダンパー・コントロールとダイナミック ドライブのアクティブ・アンチロール・スタビライザーにより、さらに正確なハンドリングに貢献します。電子制御ダンパーは、好ましくない挙動を回避するため、路面状態や走行スタイルを考慮してアクティブに制御されます。また、ダイナミック・ドライビング・コントロールを使って、ドライバーがダンパー・コントロールの特性マップを、快適性を重視するか、標準的な設定か、スポーティな設定にするかを選択することができます。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの電子制御式ダンパー・システムは、縮み側と伸び側の減衰力設定をそれぞれ無段階に、独立して行えます。そのため、固めのサスペンション設定でありながら、凹凸のある路面での快適な乗り心地を実現するという調整も可能になります。ダンパー・システムのコントロール・ユニットは、センサーから送信されたホイールの上下動や車高さに関するデータを処理します。さらに車速とドライバーが選択しているダンパー設定の特性マップを考慮して、個々のホイールの上下動の調整に必要な減衰力を算出します。これらのデータがダンパー・ユニットにフィードバックされる際に要する時間は、わずか 2.5 ミリ秒 (2.5/1000 秒) 間隔で行われます。

また、アダプティブ・ドライブ・システムの機能に含まれるアンチロール・スタビライザーは、特に高速でコーナリングする場合や急激な方向変換の際の車両の横方向への傾き(ローリング)を低減します。走行状況に応じて、各センサーがその時点の横方向の傾きを測定し、フロントおよびリア・アクスルのスタビライザーに装着されたスイベル・モーターによって、迅速かつ正確に補正します。これにより負荷変動時の挙動は格段に向上します。

セグメントで唯一:エレクトリック・パワー・ステアリングを標準装備、インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングをオプション設定

BMW 6 シリーズ カブリオレは、このセグメントで他に類を見ないサポートロニック機能を備えたエレクトリック・パワー・ステアリング (EPS) により、BMW 特有の正確さ、快適性、効率性を実現します。このシステムの場合、車速に応じたパワー・アシストは電気モーターを使って実現しています。電気モーターはステアリングのアシストが必要な場合にのみ作動するので、非常に効率的です。さらに EPS は、ステアリングに対する衝撃やその他の悪影響を及ぼす振動を大幅に取り除きます。

モデル専用の設定を施したエレクトリック・パワー・ステアリングにより、高いレベルの正確さと BMW 特有のフィードバックを実現しています。こうした基本設定に加え、ドライバーはより精度の高いステアリング特性マップを使用することもできます。その場合、ダイナミック・ドライブ・コントロールの「SPORT」モードを選択するか、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) を作動解除することによって有効になります。

エレクトリック・パワー・ステアリングでは、非常に正確なステアリング・レスポンスの制御も実現します。標準装備のサーボトロニック機能は、車速に応じたステアリング・アシストを行います。そのため、たとえば駐車する際などで低速で操舵する場合でも、大きな力は必要ありません。高速走行時には、ステアリングをアシストする力を抑え、路面との接地状態や直進安定性を最適化します。

さらにニューBMW 6シリーズ カブリオレは、このクラスで初めてインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングをオプション装備することのできるモデルです。インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングは、すでに先代モデルに提供されたフロントのアクティブ・ステアリングに加え、リア・アクスルも操舵が可能になっています。この場合、サーボトロニックによるステアリング補助力やアクティブ・ステアリングによるフロント・アクスルの切れ角は、それぞれの走行速度に応じて制御されます。さらにこのシステムは、リア・アクスルに装備されたウォーム・シャフト付きモーターを使ってリア・ホイールの切れ角も制御します。インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングは、フロントおよびリア・アクスルの切れ角を電気モーターで変化させます。このモーターのコントロール・ユニットは、センサーが測定したホイール回転数、ステアリング・ホイール角度、ヨー・レートおよび横方向加速度に関するデータを考慮し、その時点の走行状況に応じて前後の操舵状況を最適に調整します。前後のホイール角度を正確に調整することで、ニューBMW 6シリーズ カブリオレはダイナミックな走行状況で非常に高い俊敏性を発揮します。カーブの多い山道や市街地走行でも、インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングは秀でた旋回能力を発揮します。

フロント・ホイールのアクティブ・ステアリングは、低速走行ではドライバーがステアリングを握り替えることなく、わずかなステアリング操作でハンドリングできるようにします。これに対し高速走行時には、同じステアリング操作でもホイールの旋回角度はより小さくなり、コーナリング時の操舵精度を向上させます。インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングでは、ドライバーのステアリング操作によってリア・ホイールで最大 2.5° の切れ角を実現しています。これにより、市街地走行やコーナリング時の車両の旋回能力はさらに高まります。インテグレイテッド・アクティブ・ステアリングでは、車速 60 km/h 以下の場合、リア・ホイールはフロント・ホイールの切れ角と反対側(逆位相)に操舵されます。そのため車両の最小回転直径は約 0.5m 小さくなり、ステアリングの操作量も減少するので快適性が高まります。一方、高速走行時はリア・ホイールがフロント・ホイールと同じ方向(同位相)に操舵され、車線変更やコーナリングの際に、非常に快適で卓越したレスポンスを実現します。

車両のサスペンション設定を選択できるダイナミック・ドライブ・コントロール

ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、ダイナミック・ドライブ・コントロールを標準装備しています。これにより、サスペンションの設定をスポーティにするか快適性重視にするか、状況に応じて切り替えることができます。ドライバーはセンター・コンソールのスイッチで、車両の走行特性に関する設定を「NORMAL」、「SPORT」、「SPORT+」のモードから選択できます。オプションのアダプティブ・ドライブを組み合わせた場合は、さらに「COMFORT」モードが加わります。「COMFORT」モードでは、ダイナミック・ドライブ・コントロールの標準仕様の設定に含まれるアクセル・ペダルの応答特性、エンジンの応答特性、ステアリング・アシストの特性曲線、DSC の作動限界値、オートマチック・トランスミッションのシフト特性に加え、ダンパーとアンチロール・スタビライザーの特性マップを制御します。ドライバーがどのモードを選択した場合でも、あらかじめ構成されたバランスの良いトータル・セットアップをベースとしたドライブトレインやサスペンションの設定を選択することができます。

インテグレイティッド・アクティブ・ステアリングを装備した場合、さらにステアリング・アシスト用の基本設定も、モードに応じて変化します。そのため、「SPORT」および「SPORT+」モードでさらにスポーティな走行特性にすることができます。

ダイナミック・ドライブ・コントロールの「SPORT」モードでは、さらに細かいサスペンション設定が可能になります。その場合、ドライブトレインおよびサスペンションの設定を標準的な設定にするかスポーティな設定にするかは、iDrive 操作システムを使って選択することができます。そのため、固めのダンパー特性に合わない路面状況でも、ドライブトレインの設定はスポーティな特性を選ぶ、といった調整も可能になります。

もうひとつのスイッチは、DSC の設定を選択するために使用します。このスイッチでは、たとえば砂地や深い雪道での発進や走行を容易にする専用のトラクション・モードが作動します。DSC の特殊モードであるダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)は、ダイナミック・スタビリティ・コントロールの制御限界値を引き上げます。また、ダイナミック・ドライブ・コントロールの「SPORT+」モードを選んだときも、ダイナミック・スタビリティ・コントロールの DTC モードが作動します。この場合は駆動輪を軽くスリップさせることができになり、ダイナミックに走行する際の極めてスポーティなコーナリングやドリフト・コントロールを可能にします。

DSC オフ・モードにすると、ダイナミック・ブレーキ介入機能が作動し、ファイナル・ドライブは電子式リア・ディファレンシャル・ロックと同様の機能を実現します。たとえば急カーブでの加速時に駆動力を最適化するため、空転する駆動輪にのみ適切にブレーキをかけ、アクスルのもう一方のホイールに駆動力を伝達できるようにします。

軽量ブレーキ・システムとダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)

ベンチレーテッド・ディスクおよびフローティング・キャリパーを装備した軽量ブレーキ・システムは、快適かつ正確な制動力配分が可能です。フロント・ブレーキ・ディスクの直径は、BMW 650i カブリオレが 374 mm、BMW 640i カブリオレが 348 mm で、リア・ブレーキ・ディスクの直径はどちらも 345 mm です。どちらのモデルにも、アルミ製キャリアにリベットでフリクション・リングが固定されたディスクを装備しています。BMW が特許を取得し、今では他の自動車メーカーも利用しているこの原理は、フロント・アクスルのフレーム構造アルミ製キャリパーと組み合わされてバネ下重量を大幅に低減します。

ブレーキングの作動は、ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)によりサポートされます。ダイナミック・スタビリティ・コントロールには、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)、ダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)、コーナリング・ブレーキ・コントロール(CBC)、ダイナミック・ブレーキ・コントロール(DBC)が含まれます。ブレーキの温度が極端に上昇した場合は、ブレーキ圧を上昇させることでフェーディングによる制動能力の低下を防ぎます(フェード補正機能)。ドライ・ブレーキ機能は定期的にブレーキパッドをディスクに軽く接触させて降雨時のブレーキ性能を向上させます。ブレーキ・スタンバイ機能は、ドライバーがすばやくアクセル・ペダルを戻したときにあらかじめ適度なブレーキ圧を立ち上げ、急制動に備えます。坂道発進アシスタントは、上り坂での発進を用意にできるようにする機能です。その他の標準装備としては、ニューBMW 650i カブリオレには 18 インチ・アロイ・ホイールを、ニューBMW 640i カブリオレには 17 インチ・アロイ・ホイールが装備され、それぞれランフラット・タイヤとタイヤ・パンク表示(RPA)機能と一緒に提供されます。このほかオプション装備品には、18~20 インチのアロイ・ホイールも用意しています。

オートマチック・ホールド機能付きの電気機械式パーキング・ブレーキ

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、電気機械式パーキング・ブレーキが標準装備されています。これは、センター・コンソールに用意されたパーキング・ブレーキ・スイッチを 1 回引くと作動します。パーキング ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏みながらこのスイッチを押します。このようなシステム構成により、イグニッションをオフにしているとき、意図せずパーキング・ブレーキを解除することを防いでいます。走行中にパーキング・ブレーキ・スイッチを引き続けると、DSC の油圧制御装置が作動して、ABS 制御付きのエマージェンシー・ブレーキとして作動させることができます。

電気機械式パーキング・ブレーキには、さらにオートマチック・ホールド機能が用意されており、特に発進／停止を繰り返す状況でドライバーの負担を軽減します。オートマチック・ホールドをオンにした状態で車両が停止すると、坂道でもどこでも、一定のブレーキ圧を立ち上げて、ドライバーがアクセル・ペダルを操作するまで車両を停止状態に維持します。つまり、停車中にドライバーがブレーキ・ペダルを踏み続ける必要はありません。オートマチック・ホールド機能は、センター・コンソールの専用のスイッチでオン／オフします。

インテグレーテッド・シャシー・マネージメントおよび FlexRay テクノロジー

運動性能に関係するすべてのシステムは、完璧に連携しています。この連携作動に貢献するのが、インテグレーテッド・シャシー・マネージメント(BCM)によるネットワークです。数多くのセンサー信号を評価して走行状況を常時分析し、駆動系とサスペンションの機能を瞬時に、相互に調整し、常に最大限の走行安定性と最高レベルのパフォーマンスを確保します。たとえば路面の変化、急ハンドル、急加速、急ブレーキなど、状況が突然変化した場合でも、BCM は DSC、インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング(オプション)、アダプティブ・ドライブの各システムを正確に制御し、反応します。

サスペンション・コントロール・システムとドライブトレインのネットワークには、高速データ伝送システム FlexRay を採用しています。開発から量産体制まで、BMW が指導的立場で参加し、共同開発したこのシステムは、これまで不可能だったデータ伝送量を実現します。BMW は、自動車メーカーとして世界で初めて FlexRay テクノロジーを量産車に導入したメーカーです。

6 ニューBMW 6シリーズ カブリオレの BMW EfficientDynamics: さらに燃費を抑え、 より大きな駆けぬける歓びを提供



- セグメントで唯一:BMW 640i カブリオレのオート・スタート・ストップ機能を装備
- 突出した効率を誇るエンジンおよびトランスミッション
- さらに効率性を向上するエレクトリック・パワー・ステアリング

ニューBMW 6シリーズ カブリオレが提供する極上の駆けぬける歓びは、世界でもっとも成功を収めているプレミアム・カー・メーカーの卓越した開発技術による革新性がベースになっています。これらの技術は、BMW の各モデルにブランドならではのキャラクターを与えており、それは特徴的なデザインの美しさから BMW 特有の運動性能と卓越した走行快適性、さらに非常に質の高い装備品にまで及んでいます。また、ニューBMW の中心を占める品質には、突出した効率性も含まれています。ニューBMW 6シリーズ カブリオレでの特筆すべき燃費および運動性能の絶妙のバランスは、首尾一貫した BMW EfficientDynamics 開発戦略から生まれたものです。これにより、駆けぬける歓びを倍増させる極めて高度に考え抜かれた方法で道を切り開きます。その成果は、ニューBMW 6シリーズ カブリオレの広範囲にわたり採用されています。ニューBMW 650i カブリオレもニューBMW 640i カブリオレも、それぞれの先代モデルと比べて走行性能を大幅に向上させ、同時に燃費および排出ガス量を著しく削減することに成功しました。

効率性の分野で大きな進歩を遂げることにより、ニューBMW 6シリーズ カブリオレの先進的なキャラクターが強調されています。燃費およびCO₂ 排出量もその一翼を荷い、このセグメントのほとんどの競合車が実現しているデータをさらに大きく下回っています。ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、その優れたデータにより、現代にふさわしい高級車として、資源を贅沢に浪費するのではなく、卓越したテクノロジーから得られる直接的な成果を品位の証として具現化します。ニューBMW 6シリーズ カブリオレの駆けぬける歓びは、効率性においても最高の性能を発揮することにより、さらに上質なものへと昇華しています。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを装備したエンジンと同様に、ニューBMW 6シリーズ カブリオレに搭載する 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションも、BMW EfficientDynamics 開発戦略によって生まれたものです。動力伝達システムの優れた効率性、軽量構造、先進のエアロダイナミクス、その他の多くの効率性向上処置により、BMW はプレミアム・セグメントにおけるトップ・クラスのカブリオレでも、燃費および排出ガスの低減に関して驚くべき進歩を成し遂げています。EU4 をクリアした先代モデルのデータと比較して、BMW 650i カブリオレではエンジン・パワーが 30 kW(40 ps) 増大し、BMW 640i カブリオレでは 35 kW(48 ps) も増大したにも関わらず、EU テスト・サイクルにおける平均燃費は、いずれのモデルもそれぞれ 100 kmあたり 0.2 リッターも下回っています。

BMW ツインパワー・ターボを装備したガソリン・エンジン： 駆けぬける歓びを倍増させる効率性

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの市場導入時に提供される 2 種類のガソリン・エンジンは、BMW 特有の自然な吹け上がり、優れたレスポンス、滑らかな作動特性により、それが独自の魅力を発揮します。いずれのモデルにも共通しているのは、それぞれの出力クラスにおいて、ドライブ・トレインの圧倒的な効率の良さを実現していることです。ニューBMW 650i カブリオレの V 型 8 気筒エンジンも、BMW 640i カブリオレの直列 6 気筒エンジンも、BMW ならではの革新技術を採用し、BMW EfficientDynamics の原理に基づいて出力および効率を向上させています。そしてこれらのテクノロジーをモデルごとに適切に組み合わせ、それぞれのパワー・ユニットのキャラクターを作り出しています。さらに 2 つのエンジンは、軽量化のためにオール・アルミニウム構造を採用し、燃費だけでなくフロント・アクスルの荷重を軽減し、俊敏性を向上させています。

ダイレクト・インジェクションと BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーの組み合わせは、V 型 8 気筒エンジンにとっても直列 6 気筒エンジンにとっても、非常に効率的な出力アップの手段となります。従来のターボ・エンジンと異なり、BMW が採用した過給技術では、ターボ・ラグのない素早い出力上昇を実現しています。BMW ツインパワー・ターボを装備したエンジンは、素早いレスポンスと一貫した駆動トルクを特徴としています。これは 8 気筒エンジンでも 6 気筒エンジンでも、それぞれの独自の過給方式によって達成しています。ニューBMW 650i カブリオレの 4.4 リッター・エンジンは、2 基のターボ・チャージャーを装備しています。これらのターボ・チャージャーはコンパクトな構造で、2 つのシリンダー・バンク間の V セクションに配置され、それぞれ 4 個のシリンダーに過給気を供給します。BMW 640i カブリオレの 3.0 リッター・エンジンはツイン・スクロール方式のターボ・チャージャーを採用しており、エグゾースト・マニホールドからターボ・チャージャー内部までのダクトはそれぞれ 3 個のシリンダーに分離されています。これにより低回転域での排気ガスの背圧を低下させ、素早い応答特性を実現します。8 気筒エンジンでも 6 気筒エンジンでも、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーは非常に高い出力レベルを実現しています。従来の自然吸気式エンジンでこのレベルを実現しようとすると、排気量をもっと大きくしなければならず、結果として重量が重くなり、燃費も悪くなります。

2 つのエンジンにはその他にも共通点があり、第 2 世代のダイレクト・インジェクションによる燃料供給を採用しています。スプレー・ガイド式インジェクションと呼ばれるこのシステムの場合、吸排気バルブの中央、スパーク・プラグのすぐ隣に配置されたインジェクターで、燃料噴射量と噴射タイミングを非常に正確に制御しています。燃料は最大 200 bar の圧力で燃焼室に噴射され、非常に高いエネルギー供給とクリーンな燃焼を実現します。この方式の採用により、日常走行でも大幅に燃費を向上できます。さらに、ダイレクト・インジェクションによる燃料の冷却効果によって圧縮比を高く設定できるため、ドライブトレインの効率性は一段と向上します。

ニューBMW 640i カブリオレの直列 6 気筒エンジンでは、BMW ツインパワー・ターボと無段階可変バルブ・コントロールのバルブトロニックが組み合わされます。このシステムは、バルブ・リフト量と吸気バルブ・タイミングを無段階に制御します。充填サイクルでのポンピング・ロスを最小限に抑え、燃料の持つエネルギーを極めて効率的に利用でき、またエンジン応答特性もさらに向上します。

比肩するもののない効率性を誇る 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションも、あらゆる面で BMW EfficientDynamics の原理に基づいています。このトランスミッションには革新的なギア・セット構成を採用し、従来の 6 速オートマチック・トランスミッションよりもギア段数が増え、ギア比の幅が広がったにもかかわらず、そのサイズ、重量、内部効率性に悪影響はまったくありません。シフト時間が短縮され、最大の加速性能を発揮するためシフト・ダウンを行う場合、直接目標とするギアにシフトするため、運動性能が一段と向上しています。また、発進時を除きコンバーター・スリップを最小限に抑えて内部効率を高め、各ギアにおいてもクラッチはわずか 2 個しか開かないためフリクション・ロスも低減されています。また、高いギアでの変速比をより小さくし、より低いエンジン回転数での走行を可能にするトランスミッション・コントロールにより、6 速オートマチック・トランスミッションに比べて大幅な燃費向上を達成しています。

セグメントで唯一：オート・スタート・ストップ機能

ニューBMW 640i カブリオレにはオート・スタート・ストップ機能が装備され、交差点での信号待ちや渋滞の際などのエンジン・アイドリング状態を減らし、不要な燃料消費を抑えていきます。BMW 640i カブリオレのエンジンは、停車状態になると自動的に停止します。走行を再開する場合は、ブレーキ・ペダルから足を放すだけで、エンジンはただちに再始動します。

オート・エンジン・ストップ機能は、オートマチック・ホールド機能を作動させている場合も使用できます。この場合、再発進するときにドライバーはアクセル・ペダルを軽く踏むだけでエンジンがスタートします。

オートマチック・エアコンディショナーも、世界で類を見ない革新的な機能により燃費向上に貢献します。最適な冷却能力を確保するために独自に開発したエバポレーターは、エンジンが一時的に停止している場合でも、車内を快適な環境に維持することができます。エンジン停止時のエア・コンディショナーの作動可能時間は、従来のシステムと比較してほぼ 2 倍になっています。

エネルギー回生インジケーター付きブレーキ・エネルギー回生システム

標準装備されるブレーキ・エネルギー回生システムは、インテリジェント・エネルギー・フロー・マネージメントにより、惰性走行時および制動時にのみバッテリーに充電するための発電を行います。そのため発電するためにエンジンに負荷はかかりず、燃料を消費することなく電力を生成することができます。基本的に加速時にはオルタネーターの接続が分離され、より大きな駆動トルクを利用できるようにします。

ブレーキ・エネルギー回生システムの作動状態は、メーター・パネルのエネルギー回生インジケーターで確認することができます。タコメーターの下部にある瞬間燃費計の横のグラフィック表示が、惰性走行時や制動時の電力の発生状況を表示します。ブレーキ・エネルギー回生システムが燃料を使用せずに発生させたエネルギーをバッテリーに充電しているときは、常に青色の矢印で表示されます。

エレクトリック・パワー・ステアリングとオンデマンド制御式の補機類による エネルギー消費の削減

車両のエネルギー・マネージメントを向上させるために、オンデマンド制御式の補機類およびエレクトリック・パワー・ステアリングが貢献します。たとえばオンデマンド制御式のウォーター・ポンプは、常時フル作動する従来のシステムよりもはるかに少ないエネルギーしか消費しません。圧力制御式フューエル・ポンプやオンデマンド制御式ポンプ・テクノロジーを採用したサスペンション・コントロール・システムなどの装備品も、必要に応じたエネルギー利用に一役買っています。

エレクトリック・パワー・ステアリング(EPS)のサーボ・モーターは、ステアリングをアシストする必要があるとき、またはドライバーがステアリングを操作した場合にのみ作動します。その一方で、直進走行時やステアリング角度を一定にした状態でのコーナリング時には、エネルギーを消費しません。この処置により電気エネルギーの需要が減り、その結果オルタネーターが電流に変換すべき一次エネルギーの量は大幅に減少します。従来のエア・コンディショナー用コンプレッサーによる出力損失も、インテリジェント・コントロールにより低減します。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、エア・コンディショナーがオフになると、コンプレッサーは電磁クラッチによってベルト・ドライブから分離されます。

すべての装置において、徹底してフリクション・ロスの低減を追求しています。滑らかな作動を保証する専用トランスミッション・オイルを使用し、さらにファイナル・ドライブのオイル量を減らすことで、発進直後からフリクション・ロスおよびオイル攪拌によるロスを低減します。ニューBMW 7シリーズやニューBMW 5シリーズの場合と同様、ニューBMW 6シリーズ カブリオレでもアルミ製ファイナル・ドライブを採用し、よりすばやい暖機と高速走行時の熱負荷の低減を達成しています。

空気抵抗を小さくすることも燃費低減に貢献します。ニューBMW 640i カブリオレは、走行状況に応じて開閉するアクティブ・クーリング・エア・フラップを装備しています。これによりエンジン冷却用のエアがさほど必要でない場合は、車両の空力特性がさらに向上します。また、特に滑らかに仕上げられているアンダー・ボディにより、車両下部の空気の流れをスムーズにしています。

インテリジェント・ライトウェイト構造による燃費低減

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでも、適切な素材を選択することで重量低減を図っています。これにより俊敏性だけでなく、燃費および排出ガス量にもプラスの影響が得られます。車両の軽量化は、同時にパッシブ・セーフティの向上にもつながります。ボディの平均強度は先代モデルと比べて 29% 増大しました。これは特に、高強度多層鋼、高強度熱成形鋼、およびアルミニウムを適切に使用することにより達成しています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのドアおよびエンジン・フードはアルミ製です。フロント・フェンダー、ソフトトップ・フラップおよびトランク・リッドは樹脂製です。アルミダイカスト製のスプリング・サポート、大部分にアルミ材を使用したアクスル構造、同じく軽金属で製造されたエンジンも、軽量化に貢献しています。ソフトトップの設計にもライト・ウェイト原理を考慮しています。ソフトトップ収納ボックスは、先代モデルと比べて約 50% 軽量化されています。

7. ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの BMW コネクテッド・ドライブ: インテリジェント・ネットワークが示す 新たな方向性



- BMW 独自のドライバー・アシスタンス・システムと、オフィス機能およびインターネット利用を含むモビリティ・サービス
- セグメントで唯一:ヘッドアップ・ディスプレイとパーキング・アシスタント
- スマートフォンをそっくり統合、CD のアルバム・カバーや e メールをコントロール・ディスプレイに表示

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、ドライバー・アシスタンス・システムやモビリティ・サービスにも比類ない体験を約束する最先端のテクノロジーを採用しており、それがこのクルマをセグメントで一段と際立つ存在にしています。BMW コネクテッド・ドライブで利用できる機能は、標準装備品やオプション装備品を合わせると世界でも例がないほど多彩で、並ぶものはない高いレベルの快適性、インフォテイメント機能、安全性を提供します。BMW コネクテッド・ドライブは、ドライバーと車両、外部の環境をインテリジェント・ネットワークで結び、その時々の状況にふさわしい情報をオンデマンドで提供し、駆けぬける歓びを増幅させます。プレミアム・セグメントのトップ・クラスのクルマでも例のないほど多くのシステムやサービスは、BMW コネクテッド・ドライブ・サービスの充実ぶりを示し、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの技術的な優位性、先進のキャラクターをいっそう強調します。

ドライバー・アシスタンス・システム関係のハイライトは、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの導入と一緒に初公開となる新世代ヘッドアップ・ディスプレイです。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレにオプション装備品として提供されるこのセグメントで類のない最新システムは、フルカラーの 3D グラフィック描画が可能になり、一段と鮮明で明るい表示を実現しました。その他にも、「セグメント初」を誇るドライバー・アシスタンス・システムが揃っています。パーキング・アシスタント、リア・ビュー・カメラ、サラウンド・ビュー・システム、スピード・リミット・インフォ、レーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）、夜間の視界確保機能に歩行者検知機能をプラスしたBMW ナイト・ビジョン・システムなどです。

さらに他に例のないものとして、BMW コネクテッド・ドライブの枠内で開発されたモバイル端末の統合技術と、インターネット・ベースのナビゲーション & インフォテイメント・サービス利用技術があります。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、インターネットを利用するだけではありません。スマートフォンで受信した e メールや、ミュージック・プレーヤーに保存した CD のアルバム・カバー、Google の Panoramio サイトからダウンロードした写真をコントロール・ディスプレイに表示できます。操作に使用するのは標準装備の iDrive 操作システムです。

フルカラー、最適な明るさ、より多くの情報： 世界初公開の新世代ヘッドアップ・ディスプレイ

先代モデル同様、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレにはセグメントで唯一のオプション装備品であるヘッドアップ・ディスプレイが提供されます。これにより情報がドライバーの視野の視界内に直接投影されるので、ドライバーは交通状況に集中したままで走行に関係する重要な情報を確認することができます。ヘッドアップ・ディスプレイは新世代のシステムになり、表示品質がさらに向上しました。グラフィック記号は画像解像度が向上し、一段と鮮明になってフロント・ウインドウに 3D 画像として投影されます。グラフィックはフルカラーで描画され、道路標識などはほとんど実物そっくりに見えます。ヘッドアップ・ディスプレイに表示される情報自体も拡張されました。ナビゲーション・システムのハイ・ガイディング情報と並んで、装備に応じてスピード・リミット・インフォ、チェック・コントロール・メッセージ、レーン・ディバイザー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）のステータス表示、BMW ナイト・ビジョン・システムの警告情報などが表示されます。これらの情報は、フロント・ウインドウの人間工学的に最適な位置に表示されます。ドライバーは前方の路面から視線をそらしたり、眼の焦点を合わせ直したりすることなく表示を確認することができます。

投影する表示の明るさは、外光の強さに応じて自動調整されます。基本の明るさは iDrive のメニューで設定します。また、速度表示やドライバー・アシスタンス・システムの警告表示以外のどの情報を追加表示するかについても、ドライバーが選択できます。

セグメントで唯一、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに用意された BMW パーキング・アシスタント

セグメントで並ぶものない革新的技術の一つが、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのパーキング・アシスタントです。このシステムは、道路に平行して設置されているパーキング・エリアに縦列駐車をする際、安全かつ快適に操作するようサポートします。パーキング・エリアを探す際も、サイド・ターン・インジケーターのフレームに内蔵された超音波センサーを使ってシステムがアシストします。車速が 35 km/h 以下になると、システムは路肩のパーキング・エリアの大きさを測定し始めます。

システムを作動させると、適切な大きさのパーキング・エリアの前に差しかかったとき、情報として表示されます。適切な大きさかどうかの判断基準は、スペースが車両全長より 1.20 m 以上長いかどうかです。適切な駐車スペースが見つかったとき、ドライバーが車両を停車させ、ギアをリバースにシフトすると、システムが自動で目的の駐車スペースへの進入をサポートします。システムを作動させていない場合でも、駐車スペース探しはバックグラウンドで処理しています。ドライバーがリバースにシフトすると、適切な駐車スペースがコントロール・ディスプレイに表示されます。ドライバーがパーキング・アシスタントを利用したいときは、iDrive のコントローラーを押すだけです。駐車するときに必要な操作は、アクセルとブレーキの操作、および周囲の安全確認だけです。ステアリング・ホイールの操作はパーキング・アシスタントが引き受け、車両はバックしながら駐車スペースに進入します。その間も、パーク・ディスタンス・コントロール(PDC) やリア・ビュー・カメラ、サラウンド・ビュー・システムが周囲をチェックし、他の車両または障害物に接近すると音響および視覚信号で警告します。

すべてを視界にとらえ、すべてを一つの画像に表示する：

リア・ビュー・カメラとサラウンド・ビュー

車両前後の障害物をセンサーで検知するパーク・ディスタンス・コントロール(PDC)を補完するものとして、ニューBMW 6シリーズ カブリオレにはリア・ビュー・カメラを装備できます。カメラはトランク・リッドのBMW ロゴの下の、汚れの付きにくい場所に取り付けられています。リア・ビュー・カメラを作動させると、このエンブレムが上方に旋回し、カメラが姿を現して車両後方の光景の撮影を始めます。画像はカラーおよび遠近感を補正した後、コントロール・ディスプレイに表示されます。その際、インタラクティブ・トラック・ラインによって、駐車するのに最適なステアリング角度と最小旋回円が重ねて表示されます。

周囲の状況を全体像として把握するのに役立つのが、サラウンド・ビュー・システムです。このシステムはリア・ビュー・カメラとPDC センサーのほか、ドア・ミラーに組み込んだ2台のカメラを使用します。取得したデータをセントラル・コンピューターで処理し、車両と周囲の全体像を上から見たようなイメージの画像に合成し、コントロール・ディスプレイに表示します。この表示を基にして、限られたスペースでも非常に正確に操車することができます。

オプション装備品のサラウンド・ビューには、サブ・システムとしてサイド・ビュー機能が付属しており、ドライバーは状況に応じてこれを利用できます。サイド・ビュー機能は、フロント・フェンダーに内蔵した2台のカメラを使って、見通しの悪い交差点に進入するときなどの視界をサポートします。その画像もコントロール・ディスプレイに表示されます。このシステムを使えば操車がより快適になるだけでなく、狭くて見通しの悪いゲートを通ったり、ビル内の駐車場から出たりするときなどに、左右の交通状況を早期に把握できます。

最適なライン取りを支援：車線変更警告システムと車線逸脱警告システム

追い越しの際に危険な状況になることを避けるため、ニューBMW 6シリーズ カブリオレのオプション装備品にレーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告システム)が用意されています。このシステムは、車両後部に装備した2台のレーダー・センサーで隣接する車線の交通状況をモニターします。モニターするのは隣接する車線のいわゆる死角となる領域で、自車から約 60m 後方までの範囲です。危険な範囲内に他の車両がいる場合、左側ドア・ミラー・ハウジングに内蔵した黄色の三角マークが点灯します。それに気づかずに車線変更をしようとターン・インジケーターを操作すると、LED 表示灯が点滅を始めます。さらにステアリング・ホイールを、控えめながら必ず気付かずにいられないレベルで振動させて、ドライバーに警告します。

同じくオプション装備可能なレーン・ディパーザー・ウォーニング(車線逸脱警告システム)は、70 km/h 以上で走行中、意図せず車線から外れていることを検知します。このシステムは、フロント・ウインドウのルーム・ミラー付近に装備されたカメラ、データ照合を行うコントロール・ユニット、シグナル・トランスマッターで構成され、車両が車線から外れるとステアリングを控えめながら必ず気付かずにはいられないレベルで振動させてドライバーに警告します。このシステムでは、少なくとも左右いずれかの車線を区切るラインをカメラで検知します。コントロール・ユニットは車速を考慮しながら、この車線の境界線と車両の位置関係を算出します。このシステムは、カーブや狭い道路、さらにヘッドライトを点灯していれば暗闇でも機能します。ドライバーが車線変更や方向転換のためターン・インジケーターを操作すると、警報は止まります。

理想的な速度を守る:スピード・リミット・インフォと速度制限情報機能

ルーム・ミラーに装備されたカメラは、快適な走行をサポートする他のドライバー・アシスタンス・システムでも利用しています。ナビゲーション・システム・プロフェッショナルとスピード・リミット・インフォを組み合わせると、ドライバーは現在走行している道路の制限速度を確認できます。そのために、道路脇に設置された交通標識だけでなく、高速道路などに設置された電光式交通標識をカメラで常時モニターします。こうして得たデータを、ナビゲーション・システムに保存されたデータと比較します。カメラを使用するため、たとえば路面が濡れているときに適用される追加標識や、工事中などの理由による一時的な制限速度標識も見逃すことはありません。検知した制限速度は、メーター・パネルまたはオプション装備のヘッドアップ・ディスプレイに道路標識マークで表示し、制限速度が変更になるか解除されるまで表示し続けます。

暗闇での安全性向上:ハイビーム・アシスタントと歩行者検知機能付き BMW ナイト・ビジョン

夜間走行の安全性向上に寄与するオプション装備品として、ハイビーム・アシスタントがあります。このシステムは、走行条件に応じてヘッドライトのハイビームを自動的にオン／オフします。これにより常に最適な視界が得られ、同時にドライバーはハイビーム・ヘッドライトを切り換えるわざわしさから解放されます。このシステムは、ルーム・ミラーに内蔵されたカメラで捉えた画像から、前走車や対向車の存在を検知します。また繁華街など、周囲の明るさが十分な場合にも、ハイビームは自動的にオフになります。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、さらにセグメントで唯一の装備品である歩行者検知機能付きナイト・ビジョン・システムを装備することができます。第 2 世代に当たるこの BMW ナイト・ビジョンは、夜間走行における事故防止に関する新たな基準を打ち立てます。システムの中心となる装置は、エクステリア・デザインに溶け込むようにフロントに装備された赤外線カメラです。このカメラはリアルタイムのビデオ画像を提供し、ヘッドライトの光の届かない範囲であっても、人間や動物、その他の熱を放射する物体を高解像の画像でコントロール・ディスプレイに表示することができます。

BMW ナイト・ビジョンは、この赤外線画像表示に歩行者自動的検知機能を追加したものです。コントロール・ユニットでビデオ・データを分析し、高度なアルゴリズムを駆使して車両の衝突コースに入る可能性のある歩行者や自転車などを的確に発見します。歩行者に危険が及ぶ可能性がある場合は、コントロール・ディスプレイとオプションのヘッドアップ・ディスプレイに警告を表示します。この警告は、車速、ステアリング角度、ヨー・レートを基に計算した衝突コースに入ってくる可能性のある歩行者および自転車などが存在する場合だけに限られます。

BMW コネクテッド・ドライブだからこそできる革新的なモビリティ・サービス、 モバイル端末の統合機能

BMW コネクテッド・ドライブには、モビリティ・サービスからインターネット・ベースのサービス、モバイル端末を車両に接続する技術まで、比類ない多くの機能が用意されています。エンターテイメント機能、情報機能、通信関連のすべての機能を、車両本来の操作システムと完璧に統合し、これ以上は望みようのないほど直観的かつ快適で、信頼性の高い操作性を実現しました。

BMW コネクテッド・ドライブは、たとえば BMW Assist を通じて、様々な状況でユーザー本位のサポートを幅広く提供します。BMW Assist には拡張エマージェンシー・コール(自車位置情報を自動転送する機能と事故の程度を検知する機能付き)、拡張交通情報、総合電話案内サービス、対話式通信チャンネルのマイ・インフォ(My Info、Google 機能の「車に送信(Send to Car)」に対応)が含まれています。

BMW テレサービスを利用すると、たとえば愛車のサービスの自動予約などが可能です。その際、車載診断システムのコンディションベースド・サービス(CBS)で把握した摩耗部品の状態に関するデータを、電話回線を使って担当の BMW 正規ディーラーに転送します。さらに、BMW コネクテッド・ドライブの新しいリモート機能により、電話を使ってのドア・ロック／ロック解除の遠隔操作やメートル単位の精度での自車位置検出も可能になりました。

ナビゲーションをネットワーク化、最適な旅行プラン立案が可能に

BMW コネクテッド・ドライブに世界でも他の例のない機能が加わり、車載ナビゲーション・システムの使い勝手がさらに向上しました。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは、目的地の写真や現在の天候を地図形式で表示するサービスを利用できます。ナビゲーション・システムに保存されたデータを、BMWオンラインから提供されるコンテンツでダイナミックに補完できます。このナビゲーションのネットワーク化により、旅行プランの立案が一段と快適になります。ルート選択の補助ガイドとして、「目的地の写真」サービスを利用できます。写真は、Google が運営するインターネットのウェブサイト Panoramio のものを利用します。ナビゲーション・システムの「ルート案内」機能をオンにすると、設定した目的地の写真を検索し、BMW オンライン経由で Panoramio から直接車両にダウロードされます。

天候を地図形式で表示するサービスでは、ヨーロッパ各地の現在の空模様を確認できます。ナビゲーション・システムの「ルート案内」機能をオンにすると、選択した地点を中心とする20 km 四方の地域の現在の天候と気温が表示されます。天候データは2時間ごとに更新されます。

さらに、モビリティ・サービス BMW オンラインのユーザーは、世界的に最もよく知られた検索エンジンである Google の地域情報検索を使って、インターネット上の地域情報を車内から直接呼び出すことができます。その際、車両の現在位置と目的地が自動的に検知され、検索結果として当該場所を示す円と住所、電話番号、距離が表示されます。結果表示の背景には、これもよく知られたインターネット地図の Google マップを使用します。同様に、Google マップ・データベースのイエローページを検索することもできます。その場合は、押しボタンを押して結果をナビゲーション・システムまたは電話に簡単に取り込むことができます。検索結果に URL が埋め込まれていれば、リンクをたどって車内から直接ウェブサイトを呼び出すことができます。ただし、そのためには、オプションのインターネット機能が必要です。

BMW オンラインのユーザーは、さらにナビゲーションのオプション・メニューから、選択した POI (Point of Interest: 興味があるポイント) の追加情報を Google マップから入手することもできます。この場合、入手できるのは Google マップだけでなく、インターネットの他のサイトにアップされたすべての情報、たとえば写真や評価、営業／開館時間などです。

さらに、BMW コネクテッド・ドライブの機能として BMW ルート機能があります。出発前にカスタム・メイドのルート・プランを立て、それをパソコンから車両に直接送信するか、または USB メモリー・スティック経由でナビゲーション・システムに転送します。これによりナビゲーション・システムは、選択したルートに従って目的地までドライバーを案内するとともに、走行中はルート沿いの名所旧跡などに関する追加情報を提供します。

追加のエンターテイメント機能:

アルバム・カバー表示と Bluetooth オーディオ・ストリーミング

アルバム・カバー表示機能により、所有する携帯電話またはミュージック・プレーヤーに保存したオーディオ・ファイルの選択がこれまでよりもいっそう容易になりました。USB ポート経由で車両に端末を接続していれば、保存されているミュージック・コレクションに iDrive 操作システムを使ってアクセスできます。すると、コントロール・ディスプレイには曲目リストと一緒に、携帯電話やミュージック・プレーヤーに保存したアルバムのカバー画像が表示されます。

別の新機能として、Bluetooth 経由で外部機器からオーディオ・ファイルを転送することもできます。携帯オーディオ・プレーヤーの場合、ワイヤレスの遠隔操作で、プレーヤー内に保存されたオーディオ・ファイルが車載のエンターテイメント・システムに転送されます。Bluetooth オーディオ・ストリーミングを使って、iDrive 操作システムのコントロール・ディスプレイにオーディオ・プレーヤーの個人的な音楽ライブラリを表示させることもできます。選択はコントローラーで行います。これは電話が接続中であっても可能です。

BMW コネクテッド・ドライブだからこそ:Bluetooth 経由で e メールを転送

BMW は自動車業界の他社に先駆けて、Bluetooth インターフェース経由で e メールを転送し、車載ディスプレイに表示する機能を世界で初めて採用しました。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの場合、RIM(Research In Motion)社製のスマートフォン BlackBerry のユーザーが、車両の iDrive 操作システムで携帯電話の e メール・ディレクトリにアクセスすることができます。BlackBerry 端末の接続用の新しい Bluetooth インターフェースは、車内での e メール受信とコントロール・ディスプレイへの表示に対応しているだけでなく、オプションの音声出力を使ってメールを読み上げさせることもできます。

新しい e メール・アクセス機能は、すでに導入済みの BMW コネクテッド・ドライブの Bluetooth オフィス機能と連動させることができます。世界で他に例のない 2 つの機能により、電話帳と連絡先リストのほか、スケジュール表、ショート・メッセージ(SMS)、用件、メモなどを、対応するスマートフォンから Bluetooth インターフェース経由で車両に転送できるようになります。目指す項目を iDrive 操作システムのコントローラーで選択すると、それがコントロール・ディスプレイに表示されます。連絡先リストに関連して携帯電話に保存した画像ファイルをコントロール・ディスプレイに表示することもできます。

これも他に例のない機能:車内でのインターネット利用

2008 年に、世界の自動車メーカーの中で初めて BMW は車内でのインターネット利用を実現しました。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレも、BMW コネクテッド・ドライブの一環としてインターネット接続に対応しています。これはセグメントで他に例のない機能です。ウェブページの選択は iDrive 操作システムのコントローラーで行い、表示にはコントロール・ディスプレイを使用します。データ伝送は EDGE(Enhanced Data Rates for GSM Evolution)と呼ばれる方式です。UMTS と比べてカバー・エリアが広く、モバイル無線の標準方式である GPRS に比べると 3~4 倍も高速です。選択したウェブサイトの情報を車内に高速で取り込み、コントロール・ディスプレイにスムーズに表示するため、専用の BMW サーバーを使用しています。

8. 装備： 高級なオプション装備でいっそう個性的に



- iDrive 操作システムと独立型コントロール・ディスプレイ
- 2 ゾーン・オートマチック・エアコンディショナーと HiFi オーディオ・システムを標準装備、
ハードディスク搭載ナビゲーション・システムをオプション設定
- 新開発のシートに 3 種類のバリエーション、多様な調整および快適機能

高品質な標準装備品やセグメントで他に例のないユニークな数々のオプション装備品は、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのプレミアム・モデルとしてのキャラクターを引き立て、時代を先取りする特別な上級車としての存在感を強調しています。また、インテリアの装備品や高級素材を使用したシート・クッションのこの上なくスタイリッシュな配色も、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの独特のステイタスを魅力的に演出しています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの標準装備品の中でも特筆に値するのは、レザー・シートおよび運転席側と助手席側で独立して温度調節ができる拡張機能付きのオートマチック・エアコンディショナーです。iDrive 操作システムとダッシュボードに統合された斬新なデザインの独立型コントロール・ディスプレイも標準装備されています。さらにBMW コネクテッド・ドライブの枠内で、一連のドライバー・アシスタンス・システムとモビリティ・サービスが標準装備またはオプション装備として提供されます。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、走行快適性、安全性およびインフォテイメントにおいてセグメントで並ぶものはない存在です。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの標準装備品には、このほかにも全自动式ソフトトップ開閉システム、パワー・ウインドウ(フロント／リア)、バイキセノン・ヘッドライト、電動調節および格納が可能なヒーター付きドア・ミラーが含まれます。ドライブトレインおよびサスペンション関係では、ダイナミック・ドライブ・コントロール、レザー・ステアリング・ホイール(マルチ・ファンクション・スイッチ付き)、車速感応式パワー・ステアリングのサポートロニック、電気機械式パーキング・ブレーキ(オートマチック・ホールド機能付き)が標準装備されています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのエンジンは、リモート・コントロール(キー)が車内にあれば、スタート／ストップ・ボタンを押すだけで始動します。キーをイグニッション・スイッチに差し込む必要はありません。オプション装備品のコンフォート・アクセス・システムは、自動ロック／ロック解除機能に加えて、ソフトトップの全自动開閉機能が付いた拡張タイプです。たとえば車両から 1.5m の範囲内であれば、リモート・コントロールのボタンを押すだけでソフトトップとサイド・ウインドウを操作できます。このほか、ドアのソフト・クローズ・オートマチック機能がオプションで提供されます。

3 種類のバリエーションを用意した新開発の軽量構造シートは、サン・リフレクティブ・テクノロジーを施したレザーを標準装備、アクティブ・シートをオプション設定

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレ用に開発された軽量構造シートには、3 種類のバリエーションがあります。標準装備のシートには、衝撃感応式アクティブ・ヘッドレストのほか、運転席／助手席のメモリー機能付き電動調節機能(シート高さ、前後位置、バックレスト角度、ヘッドレスト高さ)を装備しています。シートの操作は、シート・フレームの外側に配置したスイッチで行います。

オプション装備品のスポーツ・シートでは、シートとバックレストのサイド・クッションが高くなっています。最適な横方向のサポートが得られます。このシートには、一体型ヘッドレストと手動式サイ・サポートが組み合わされます。さらにスポーツ・シートにはオプションで、ランバー・サポート調節機能が用意されます。もう一つのシートは、同じくオプション装備品のコンフォート・シートです。このシートには、コンフォート・ヘッドレスト、ランバー・サポート、電動調節機能(サイ・サポート、バックレスト幅、サイ・サポートの傾き)が追加装備されています。

3 種類すべてのシート・バリエーションに、イージー・エントリー機能が用意されています。スイッチを短時間押すだけで、シートが最も前の位置まで自動的に移動し、後席への乗降を快適に行えるようにします。

すべてのシート・バリエーションには、オプションでシート・ヒーター(運転席／助手席)が用意されています。スポーツ・シートとコンフォート・シートではさらに、ベンチレーション・シートを選択することができます。また、コンフォート・シートには運転席／助手席のアクティブ・シートも用意されています。このシートは座面の左右が交互に、規則的に上下運動を行い、骨盤と背骨のまわりの筋肉をほぐし、凝りと疲労を予防します。

レザー・インテリアは、標準仕様がダコタ・レザーで、オプション装備品には拡張仕様のエクスクルーシブ・ナッパ・レザーが用意されています。いずれのシートにも、BMW の独自の技術であり、日差しを反射するサン・リフレクティブ・テクノロジーを施しています。これは赤外線を反射する性質を持つ顔料を、特殊処理によってレザー内部に浸透させるもので、炎天下にオープン・トップの状態で駐車したときでも、シートが熱くなるのを大幅に抑制する効果があります。

個性的なスタイルを演出し、一段と高級感にあふれる室内にするため、選び抜かれたデザイン・アイテムや非常に高級なインテリア素材を用意しています。エクスクルーシブ・ナッパ・レザーの場合、ダッシュボード、センター・コンソール、ドア・トリム、後席サイド・トリムの上部もレザー仕様を選択できます。さらにエクスクルーシブ・ナッパ・レザー仕様のインテリア用追加オプションとして、コントラスト・ステッチを用意しています。配色を変えたダブル・ステッチがレザー表面から浮き上がって見え、装備品のフォルムを強調する高級感あふれるアクセントとなっています。この他、シフト・レバー、オートマチック・エアコンディショナーの操作部、コントローラーのフレームにセラミック仕様を選択することもできます。オプションのアンビエント・ライトは、ドア・トリム・パネル、ドア・ポケット、後席サイド・トリム・パネル、センター・アームレスト下の小物入れ、エントランス・レール、ラゲージ・ルームなど、数多くの追加ライトが含まれています。

標準装備のオートマチック・エアコンディショナーに、 革新的なエバポレーターとオープントップ・モードを装備

標準装備のオートマチック・エアコンディショナーには、チャコール・フィルターの他、レイン・センサー、ソーラー・センサーなど数多くのセンサーを備えており、さらに余熱ヒーター機能とパーキング・ベンチレーションを利用できます。風量およびエア配分は、運転席側と助手席側で独立して調節ができます。AUTO プログラムを選択した場合でも、運転席側と助手席側それぞれで、空調の強度を 5 段階に調節することができます。

オート・スタート・ストップ(オートマチック・エンジン・スタート／ストップ)機能を装備した BMW 640i カブリオレでは、この機能との関連で、快適性をさらに向上させる世界に例のない革新的技術を採用しました。冷気を最適な状態で保存しておくために特別に開発されたエバポレーターです。このエバポレーターは、エンジンを一時的に停止しているときでも、車内の空調を快適な状態に保つことができます。エンジン停止後、エア・コンディショナーを作動し続けることのできる持続時間は、従来のシステムの約 2 倍になりました。

さらに、ソフトトップを開くとエア・コンディショナーは自動的にカブリオレ・モードに切り替わります。このモードは、車速に応じて風量を制御するだけでなく、外気温度も考慮して、冷房／暖房を自動的に選択します。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、さらにパーキング・ヒーターの他、ステアリング・ヒーターも用意されています。積載関係では、スキー・バックがオプション装備として用意されています。左右のフロント・シート間のオープン・スペースに押し込む格好で、スキー・セットを車内に積むことができます。

HiFi スピーカー・システム付きラジオ・プロフェッショナルを標準装備、ハードディスク搭載のナビゲーション・システム・プロフェッショナルをオプション設定

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、HiFi オーディオ・システム・ラジオ・プロフェッショナルを標準装備しています。このシステムには、MP3 対応 CD プレーヤー、外部入力用 AUX 端子、スピーカー9 個の HiFi スピーカー・システムを装備しています。さらにオプションで、6 連奏 DVD チェンジャー、TV チューナー、デジタル・オーディオ放送(DAB)受信用チューナー、12 個のスピーカーとデジタル・アンプからなる HiFi システム・プロフェッショナル (DIRAC シグナル・プロセッサーと車両に合わせてチューニングを施したイコライザー付き) を用意しています。

オプション装備品のナビゲーション・システム・プロフェッショナルでは、すべてのナビゲーション・データを 80 ギガバイト(GB)のハードディスクに保存しています。車両に組み込まれたデータ保存用ハードディスクに、個人的に作成したミュージック・コレクションを保存することができます。音楽ファイルは、例えば CD、市販の MP3 プレーヤー、USB スティックなどから転送でき、そのためのハードディスク・メモリー容量は 12GB 以上用意されています。

ナビゲーション・システム・プロフェッショナルでは、ルート案内用に高解像度グラフィックの地図表示と矢印表示を組み合わせて利用できます。全画面地図表示モードでは、現在走行中の地域一帯の様子が極めて精密に表示されます。地図や 1 つ 1 つのシンボルも、3D グラフィックで表示できます。さらに等高線図を表示させることもできます。ルート沿いの選択した名所旧跡を、写真のようにリアルな画像で表示することもできます。目的地の選択を容易にするプレ・ビュー・マップも用意しています。全画面表示の代わりに、コントロール・ディスプレイにアシスタント・ウィンドウを表示させることもできます。アシスタント・ウィンドウには、メインの地図とは別の場所の地図や、オンボード・コンピューター、エンターテイメント・プログラムのデータなどを表示できます。メニュー・オプションで「交通状況の強調表示」を選択すると、最新の渋滞情報が視覚的に目立つように表示できます。推奨走行ルート機能が組み込まれたハイ・ガイディング機能は、たとえば見通しの悪い交差点での曲がり方など、詳細な表示を画面から直接メーター・パネルに、あるいはオプションのヘッドアップ・ディスプレイに転送して表示します。

世界で唯一：インテグレイテッド・オーナーズ・ハンドブック

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレの標準装備品には、さらに世界で唯一の車載型取扱説明書(インテグレイテッド・オーナーズ・ハンドブック)も含まれています。iDrive システムを使ってこの取扱説明書を表示させ、あらゆる装備に関する詳細な情報を呼び出すことができます。操作の説明は、音声付きアニメーションとスライド・ショーでわかりやすく紹介します。短くわかりやすいテキストと関連する画像によって、簡単に操作方法を知ることができます。

9. ニューBMW 6シリーズ カブリオレの BMW Individual: 個性的なスタイルへのこだわりをサポート



- 比類ない高級感、唯一無二のデザイン、選び抜かれた素材、ていねいな仕上げ
- 強力な印象を放ち光の加減で色彩が変化する塗装、鍛造アロイ・ホイール
- フル・レザー仕様およびインテリア・トリムの新しいバリエーション

BMW 6シリーズ カブリオレは、トップ・クラスの駆けぬける歓びと比類ない高級感で感動を呼び覚します。このクルマをベースに、自分だけの個性的なスタイルを追求する自由度を提供するのが BMW Individual です。2011 年秋から、ニューBMW 6シリーズ カブリオレにも、塗装、アロイ・ホイール、インテリア装備品など、カスタム・メイドのプログラムを提供します。常識を打ち破るクルマを素材に、最高の要求に答える品質を保ちながら、自分の好み通りに装い、世界でただ 1 台のクルマに仕立てるすばらしい可能性が開けます。

BMW Individual プログラムの製品はすべて、素材の選択、加工品質、デザインの面で BMW グループの厳しい基準を満たすのみならず、プレミアム・カー・セグメントにおいても新たな基準を確立します。量産車の優れた安全性、熟練された高い技術、独自のデザインによる比類のない魅力が奏でる究極の顧客第一主義です。たとえば塗装では、非常に高いレベルの工法により独特の効果を実現しています。レザーとウッドは厳選した上質の素材を使用し、天然の風合を生かす方法で加工しています。

BMW Individual プログラムに含まれる製品は、すべて単品で購入することができます。BMW 6シリーズ カブリオレには、さらにカラーと素材の組み合わせに関して、完璧な調和を見せる BMW Individual Composition を提供します。もちろん、顧客ごとの個別な希望にも対応します。すべての製品は、BMW Individual の専用工房で製作されています。

BMW Individual の塗装: きらめく外観

BMW Individual 塗装を選択すると、一見しただけで特別なニューBMW 6シリーズ カブリオレだとわかる品質で、必ずやオーナーに羨望の目が向けられることでしょう。最高 7 回にも及ぶ塗装工程を経て、特殊な顔料の調合を使用し、魅力あふれる虹色に光彩が変化する効果と比類のない輝きと、並ぶものない深みのある色合いを実現しました。ニューBMW 6シリーズ カブリオレに用意された BMW Individual 塗装は、シトリン・ブラック・メタリック、ルビー・ブラック・メタリック、ムーン・ストーン・メタリック、そして今回初めて提供される新開発のタンザナイト・ブルー・メタリックです。この他に、BMW Individual 専用塗装として、ブリリヤント・ホワイト・メタリックとルリ・ブラウン・メタリックも用意されています。

ボディ・カラーはすべて、BMW Individual ハイグロス・シャドー・ラインまたは BMW Individual エクステリア・ライン・アルミニウム・サテンと組み合わせることができます。特に強いインパクトを与えるものとして、この他にリアの BMW Individual ロゴと、BMW 6 シリーズ カブリオレ専用の BMW Individual アロイ・ホイールがあります。V スポーク・デザインの 19 インチ・ホイールの他にも、V スポーク・デザインの鍛造 20 インチ・ホイールがあります。

**厳選した素材を熟練のクラフトマン・シップでていねいに加工：
BMW Individual フル・レザー仕様のファイン・グレイン・メリノ**

傷のない素材を厳選し、この上なくていねいに加工する。これが BMW Individual フル・レザー・ファイン・グレイン・メリノの高級感の秘密です。シート、ドア・トリム・パネル、センター・コンソール、ダッシュボードに張られたレザーは、自然のままの風合いを見せます。毛穴を塞がず、呼吸できる状態に保たれたレザーはこの上なく快適です。ファイン・グレインのしなやかな表面は非常にエレガントで、この上なく心地よい手触りです。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのフル・レザー仕様のカラーは、プラチナ、シャンパン、アマロ・ブラウン、コヒバ・ブラウン、そして新登場のオパール・ホワイトです。このレザー仕様のもうひとつの特徴は、個々のシートの縫い目にあります。パイピングと縫い目はコントラスト・カラーで仕上げられています。

BMW Individual インテリア・レザー・トリム・ストリップは、ピアノ・フィニッシュ・ブラックとプレーン・オーバーン・ブラウン、そしてニューBMW 6 シリーズ カブリオレに合わせて導入されたアッシュ・グレイン・ホワイトの 3 種類があります。いずれも選び抜かれた理想のカラー・コンビネーションが特徴です。この他にも、追加オプションとしてインテリア・トリム・ストリップと同じ材質の BMW Individual ステアリング・ホイール・ウッド・インレイが用意されています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに提供される BMW Individual Composition は、カラー・コーディネートされたフル・レザー仕様とレザー・ステアリング・ホイールのウッド・インレイで構成されます。さらに、照明付き BMW Individual エントランス・レールが装備されます。

10.ボディおよび安全性： 頑丈さと軽さの理想的な組み合わせ



- ボディの平均強度を 29% 増大
- 高強度鋼や超高張力鋼を適切に使用し、ドア、エンジン・フード、スプリング・サポートにはアルミ材を、サイド・パネル、トランク・リッドには樹脂を使用
- シートベルトを一体化した軽量構造シート、ロールオーバー保護システム

緻密に考え抜かれたボディ構造、適材適所の材料の組み合わせ、最新の生産工程、入念に調整されたコンポーネントで構成されたセーフティ・パッケージにより、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは乗員保護性能、俊敏性、そして軽量構造が理想的に組み合わされています。ボディ構造は、剛性面でも、インテリジェント・ライトウェイト構造においても新たな基準を打ち立てます。負荷分散経路の配置を最適化し、必要な部位を強化することで、ボディ剛性を格段に高めています。レストRAINT・システムは集中制御され、さまざまな種類の衝突に対して常に最適な保護効果を発揮します。その上、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのセーフティ・コンセプトは最善の歩行者保護性能を実現する革新的な対策を備えています。これにより、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは世界中の主要な衝突試験をクリアする条件を満たしています。

目的に合わせた材料の組み合わせで、ねじり剛性を高め、重量を最適化

高強度多層鋼と超高張力熱延鋼を、それらが最も必要となる場所に使用して、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに安全な乗員保護空間を作り出し、軽量でありながら最高の強度を実現しています。ボディ材料の平均強度は先代モデルと比較して約 29%、ボディの静的ねじり剛性は 50% 向上しています。このような特性はパッシブ・セーフティに貢献すると同時に、優れた運動性能を実現する基礎にもなっています。車両の路面投影面積と重量の比率でねじれ剛性値を表す軽量構造クラスでも、最高値を達成しています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのドアおよびボンネットはアルミ製です。アルミを使用すると、スチール製と比べてドアだけでも 14 kg の軽量化になります。また最新の製造技術により、レーザー溶接したプレート・シェル構造のウインドウ・フレームレス・ドアを実現しました。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレでは初めて、フロント・サイド・ウインドウだけでなくリア・サイド・ウインドウにも挟み込み防止装置を備えたパワー・ウインドウを採用しています。

フロント・フェンダーは熱可塑性プラスチック製で、従来のスチール製に比べて約 2kg の軽量化を実現しています。トランク・リッドとソフトトップ収納リッドにはグラスファイバー複合材料の SMC(シート・モールディング・コンパウンド)を使用したことでの、重量が軽くなっただけではなく他にも利点があります。SMC は鋼板では得られない成形性によって、優れたデザインの自由度を備えています。さらにすべてのアンテナ・システムは、見えないようにトランク・リッドに内蔵されています。

集中制御式のエアバッグとロールオーバー・プロテクション・システム

高強度負荷分散構造、正確に定義された広範囲のデフォーメーション・ゾーン、高性能レストレイント・システムが、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのパッシブ・セーフティのベースとなっています。正面衝突の際に作用する力はデフォーメーション・ゾーンで吸収し、フロア・パネル、サイド・フレーム、バルク・ヘッドなどの複数の負荷経路に分散して伝達することでパッセンジャー・セルを保護します。ビーム構造部には、多層鋼とプレス硬化スチールを高い割合で使用しています。さらにフロント・アクスル周りに追加されたバンパー・システムが、ボディ・フロント・エンドに作用する力を的確に分散させます。セーフティ・ステアリング・コラムには、負荷応動式クラッシュ・エレメントやステアリングを大きく移動させるスライド・システムが装備されており、エンジン・ルームからの衝撃力からドライバーを保護します。側面の構造は、B ピラーとサイド・シルを強化し、非常に強力なドア補強部と頑丈なシート・クロスメンバーによって、側面衝突時の変形量や侵入速度を抑制します。

セーフティ・システムの標準装備品には、フロント・エアバッグ、シート・フレーム内蔵型頭部／胸部保護用サイド・エアバッグ、3 点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席)、前席ベルト・フォース・リミッター、前席シートベルト・ロック、後席 ISOFIX チャイルド・シート固定ブランケットが含まれています。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに装備されたロールオーバー・プロテクション・システムは、センサーが検知したデータによって横転の危険性がある走行状態を判断すると自動的に作動します。このような状況では、後席ヘッドレストに取り付けられた高強度アルミニウム製の 2 本のロールオーバー・バーが瞬時に自動的に繰り出され、超高強度スチール製の A ピラー、頑丈なフロント・ウインドウ・フレームと共に乗員の生存空間を確保します。ばね荷重をかけられたバーは、着火式ジェネレーターで作動します。そのための信号はセントラル・セーフティ・エレクトロニクスから送られ、同時にシートベルト・ロックと頭部／胸部保護用サイド・エアバッグも作動します。

ベルト・システムを内蔵した新開発の軽量構造シート

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、新開発されたベルト・システム内蔵式軽量構造シートが装備されています。このシートには 3 つのバリエーションがあります。標準仕様の他に、ヘッドレスト一体型スポーツ・シート、調整範囲を拡張したコンフォート・シートを用意しています。このシートは取付け高さが低いため、スポーツ・カーの特徴である深いシート・ポジションをとることができます。

先代モデルと比べて全高が低くなつたにもかかわらず、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは前席でも後席でもヘッドルームが増えています。さらに運転席シートも助手席シートも、高さ調整の範囲が広くなりました。また室内幅が拡大したことは、すべてのシートで実感することができます。後席ではさらにフットスペースも拡大し、快適なシート位置を実現しています。リア・シート・バックレストの傾きは先代モデルよりもさらに最適化されており、BMWセダンのレベルに近くなっています。

すべてのシート・バリエーションに、衝撃感応式アクティブ・ヘッドラストを装備しています。このシステムもセーフティ・エレクトロニクスによって制御され、万一の追突の際には、ヘッドラストの前側を最大約 60mm 前方へ、最大 40mm 上方へ、瞬時に移動させます。これにより、車両に作用する力で頭部が後方へ反り返る前に、ヘッドラストと頭部の間隔を小さくします。このようにして、ヘッドラストの安定性と保護機能を高め、頸部を損傷するリスクを抑えています。その他にも、ISOFIX チャイルドシート・マウントや、チャイルド・シートを助手席に装着した場合の助手席側フロント・エアバッグ、サイド・エアバッグの作動解除機能を標準装備しています。

アクティブ・エンジン・フードで歩行者保護性能を向上

歩行者保護に関するパッシブ・セーフティ性能を向上させるため、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、万一歩行者と衝突してしまった場合に自動的に持ち上がるアクティブ・エンジン・フードを用意し、国別仕様に応じて装備しています。このシステムには着火式作動機構が組み込まれており、車速 20km/h～55km/h で走行中にセンサーが歩行者との衝突を示すデータを検知すると作動し、エンジン・フードの前側および後ろ側の部分を持ち上げます。

これによりエンジン・フードの下にさらに変形可能なスペースが生まれます。その結果、衝撃エネルギーを逃がすことができるため、歩行者が怪我を負うリスクを低減させ、事故の影響を和らげます。

最適な視界:バイキセノン・ヘッドライト、LED 式ディ・ランニング・ライト、可変ライト・ディストリビューション機能付きアダプティブ・ヘッドライト

BMW の特徴である片側 2 灯式ヘッドライトにバイ・キセノン・ライトを標準装備することで、ニューBMW 6 シリーズ カブリオは極めて明るく路面を照らします。その特徴的な LED ライト・リングは、2 段階の出力ステージで明るい白色光を発します。約 10% 減光した状態では、パーキング・ライトの機能を果たします。100% の明るさでは、BMW らしさを引き出すディ・ランニング・ライトとして機能します。その他の標準装備品として、周囲の明るさに合わせて自動的にロービームを点灯させるライト・センサー、雨の強弱を検知してワイパー・モードを自動で調整するレイン・センサーがあります。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、オプションでアダプティブ・ヘッドライトを装備できます。これにはコーナリング・ライト、バリアブル・ライト・ディストリビューション、アダプティブ・ヘッドライト・レンジ・コントロールが含まれています。アダプティブ・ヘッドライトは、カーブの方向に沿って道路を照らすシステムです。その際、ヘッドライトの旋回方向はステアリングの操作角度、ヨー・レート、車速に応じて制御されます。コーナリング・ライト機能は、ヘッドライトに組み込まれています。コーナーを曲がる際に補助ライトが点灯し、曲がる方向の路面を照らします。

アダプティブ・ヘッドライト・レンジ・コントロールは、進行方向の路面の上下方向の照射角度（光軸）を調整します。丘の上や高低差の大きい道路などを走るときは、対向車線のドライバーがまぶしくないように的確に光軸を上下させて路面を最適に照らします。アダプティブ・コーナリングライトを構成するもう 1 つの要素に、可変ライト・ディストリビューション機能があります。これは直線道路で状況に合わせて投光する幅を調整し、路面を最適に照らします。走行速度に応じて光軸の幅を的確に拡大させ、夜間の視界を自動的に広げます。

オプションのフォグライトは、それぞれ 3 つの LED ユニットで構成されたり、昼光に近い照明効果が得られます。それによって路面が特に明るくはっきりと照らし出されます。

追突事故を避けるため、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレにもダイナミック・ブレーキ・ライトが装備されています。急激に減速したときや ABS が制御し始めたとき、ブレーキ・ライトを目立つように点滅させることで、後続車のドライバーにできるだけ強くブレーキを踏むよう警告を発します。さらに急減速して車両が停止したときは、自動的にハザード・フラッシュャーを作動させます。



11.BMW 6 シリーズの歩み： オープン・カーによる 駆けぬける歓びの伝統

- BMW 6 シリーズ カブリオレ：美学、運動性能、高級感を備えた典型的な 2+2 シート・オープン・カー
- 伝統的な BMW ブランドの価値を本物ならではの新たな解釈で
- モデル・ヒストリーに刻まれたモータースポーツの伝説と孤高のドリーム・カー

先進的なテクノロジーがニューBMW 6 シリーズ カブリオレの走りを特徴づけ、そのキャラクターには魅力的なモデル・ヒストリーが反映されています。BMW ブランドのオープン・スポーツ・カーは、70 年以上前から卓越した運動性能と上質な駆けぬける歓びの象徴であり続けています。世界で最も成功したプレミアム・カー・メーカーである BMW は、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレによって他に類のないほどの伝統を継承します。桁外れのモデル・ヒストリーは、1940 年のミッレミリアを制したクルマのベース車両である伝説の BMW 328 だけに限りません。1950 年代のドリーム・カー BMW 507 からダイナミックで先進的な先代 BMW 6 シリーズ カブリオレまで、連綿と続いています。

そのダイナミックな走行特性、革新的な技術、高度な美学によって、遙か昔から BMW のカブリオレは伝統的な BMW ブランドの価値を体現してきました。その優れた走行性能は、モータースポーツで培ったノウハウに基づいています。革新的な製造技術と他に類のない装備品が、BMW の持つ革新性を裏打ちしています。さらに、BMW カブリオレのプレミアム・キャラクターを具現化するデザインが、人々に欲望を呼び覚ます光彩を放っています。ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、この本物として不变の魅力を発揮するブランドの価値を新たに解釈し直したモデルです。その光輝くイメージ、スポーティな印象、何ものにも凌駕されることのない革新的かつ多様な装備品が、このセグメントにおける典型的な 2+2 シート・オープン・カーとしての美学、運動性能、高級感を生み出しています。

BMW のカブリオレに刻まれる自動車製造のマイルストーン

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレは、こうした伝統の中でも象徴的な存在として自動車製造に後々まで影響を与えると共に、今日でもなおその魅力を失うことがありません。その系譜は、1937 年の BMW 327 から始まりました。このクルマは、カブリオレとしてもスポーツ・クーペとしても非の打ちどころのない優美さによって人々を魅了し、BMW の戦前のモデルで最も高級なクルマとして記憶されています。このモデルには、当時の水準でも非常にパワフルだった出力 55 ps のドライブトレインの代りに、1938 年から BMW 327/28 として伝説的な BMW 328 ロードスターに搭載された出力 80 ps のスポーツ・エンジンを搭載することができました。このモデルを元に超軽量アルミ製ボディのスポーツ・クーペが生まれ、BMW は 1940 年に伝説の長距離レース、ミッレミリアの総合優勝を手にしました。

特に要求の高い顧客のために、BMW はこの時期にさらに別のオープン・モデルを提供しました。それが BMW 335 であり、セダンと共に作られたカブリオレ・バージョンは、BMW を代表するステイタスと快適な長距離ドライブをもたらしました。1939 年に発表されたこのオープン 4 シーターのインテリアは、レザー、ウッド、クロームを使用することで贅沢な雰囲気を醸し出し、フル・シンクロナイズを採用したトランスミッションは走行快適性を高めました。BMW 335 には出力 90 ps の 3.5 リッター直列 6 気筒エンジンを搭載していましたが、その成功は長く続きませんでした。戦争のため、BMW 335 の生産はわずか 410 台で終了し、そのうちカブリオレは 158 台でした。

高級感あふれる走り：

BMW 502 カブリオレには、ドイツでは戦後初の V8 エンジンを搭載

定評ある 6 気筒エンジンは、1950 年代初めに注目すべきルネッサンスを謳歌しました。この 6 気筒エンジンを搭載して 1952 年から製造されたモデル、BMW 501 には、そのボディのふくよかな曲線と大きくサイドに張り出したフェンダーから「バロック・エンジェル」と呼ばれました。セダンに次いで 1954 年には、BMW 501 のクーペとカブリオレのバリエーションも台数限定で製造されました。

BMW 502 の市場導入により、1954 年にはカブリオレにもその身分にふさわしい V8 エンジンが搭載されました。アルミ製のクランクケースとシリnder・ヘッドを備えた排気量 2.6 リッターのパワーユニットは、最高出力 100 ps を発生しました。この V8 エンジンは、戦後ドイツのメーカーが製造した初の 8 気筒エンジンであり、その軽量構造コンセプトは市場では最新型のエンジンでした。

4 シーターと 2 シーターのスタイルの象徴：BMW 503 カブリオレと BMW 507

モデル 501 と 502 の継続開発と並んで BMW では早くからスポーツ・カーが計画され、機が熟すの待っていました。すでに 1955 年のフランクフルト国際モーターショーで、BMW は同時に 2 台のニュー・モデルを華々しく発表していました。それが BMW 503 クーペと BMW 507 ロードスターです。この 2 つのモデルは 3.2 リッターに排気量を増加した 8 気筒エンジンを搭載し、BMW 503 では 140 ps、BMW 507 では 150 ps のパワーを発生しました。4 シーターの BMW 503 にはカブリオレも用意され、レザー・クッション、パワー・ウインドウが装備されたこのモデルは、始まったばかりの奇跡の経済復興時代に芽生えた、ぜいたくさとエレガントなデザインへの要求を満たしました。

BMW 503 と BMW 507 のためのデザインは、ドイツの若きデザイナー、アルブレヒト・フォン・ゴルツ(Albrecht Graf Goertz)が描きました。有名な産業デザイナー、レイモンド・ローウィ(Raymond Loewy)の弟子であった彼は、長く伸びたサイド・ラインと力強くカーブしたフロント・エンドによって、それまではイタリア車だけが特徴としていた優雅さと軽やかさを組み合わせることに成功しました。今日もなお、この組み合せは、BMW 6 シリーズ カブリオレが体現しているスポーティ・エレガンスの見本となっています。この 2 つのモデルは、ロング・ノーズ、後方に配置されたキャビン、ロング・ホイールベースによる BMW の典型的な特徴であるスポーティさを備えていました。メディアから「イーザル川の夢」の称号で呼ばれた BMW 507 は、幅を広くした BMW キドニー・グリル、フロント・フェンダーに設けられたえら状のサイド・グリルなど際立った特徴を備えていました。

BMW 503 は、技術的な観点からも先駆者の役割を果たしました。ボディの一部がアルミ製のこのカブリオレには、軽合金製 V8 エンジンが搭載され、クーペと同じ最高速度 190 km/h で駆けぬけることができました。ブレーキ・ブースターが標準装備され、1957 年からはトランスミッションを直接エンジンに固定して、初めてコラム・シフトではなくセンター・レバーでシフトする方式を採用しました。BMW 503 カブリオレは、そのダイナミックで楽しいドライビングと最先端の技術によって人気を博しました。すでに 1950 年代から、現在もなお BMW のラグジュエリー・カブリオレに求められる役割を果たしていました。

他にはない駆けぬける歓びが復活 BMW 6 シリーズ カブリオレ

BMW 503 カブリオレの製造が終了した後、1960 年代以降はより小型のモデルで 4 シーターの開発を進めていた BMW は、BMW 507 の開発に注力しました。1962 年に、主要株主のヘルベルト・クヴァント(Herbert Quandt)のために製作され、現在 BMW Classic に展示されている BMW で 1 台限りのモデル BMW 3200 CS を見ると、デザイナーと開発者の創造力によって全く別のカブリオレ・モデルも可能であったことを示しています。

しかし、市場の状況によって異なる戦略が取られました。それだけに、2004 年のルネッサンスで BMW のカブリオレがより大型化されたことは非常に印象的な出来事でした。クーペの発表からわずか数か月後には BMW 6 シリーズの 2 つ目のモデルとしてカブリオレ・モデルが登場しました。これら 2 つのモデルは、長い伝統から生み出されるアッパー・クラスのツードア・スポーツ・カーの魅力を再び蘇らせました。BMW 6 シリーズ カブリオレは、オープン・カーでの長距離ドライブの楽しみを、スポーティかつエレガントなフォルムで体現していました。運動性能、高級感、革新的な技術を備え、個性を最も重視する人のための、類ない魅力的なモデルです。何の制約もなく一年を通じて日常的に使用できるこの車で、贅沢な駆けぬける歓びを毎日楽しむことができます。

2007 年に市場導入された BMW 635d カブリオレは、この種の車両セグメントでは他に類のない効率性を備えていました。出力 210 kW/286 ps を発生する世界最強の最もスポーティな 6 気筒ディーゼル・エンジンが、その特徴的な推進力でアッパー・クラス・カブリオレの走りをさらに多面的で豊かなものにしました。初代 BMW 6 シリーズ カブリオレは、2004 年から 2010 年までの間に全世界で 49,053 台販売されました。

ニューBMW 6 シリーズ カブリオレには、このサクセス・ストーリーをさらに継続するための条件が揃っています。先代モデルの品質をさらに効果的に改善し、数十年に渡って培われたBMW オープン 4 シーターの価値を現代的に解釈しています。抗しがたい美しさ、魅力あふれる運動性能、革新性を備えた贅沢さが、この車両セグメントのハイライトとして光かがやき、要求レベルの高い自動車ファンにとって、今も昔もドリーム・カーであり続けるのです。

12 生産： 最高の品質を生む高度な精密さ



- ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、BMW 7シリーズ、BMW 5シリーズと共にディンゴルフイン工場で生産・
- モデルの枠を超えたプロセスとコンポーネントが、効率的な生産とラグジュアリー・クラスの品質を保証・
- 1985年から蓄積したカブリオレの経験と知識、そして革新的な製造技術

生産プロセスを支える革新的な製造技術と熟練したクラフトマン・シップによる精密さ、品質を重視する意識が、ニューBMW 6シリーズ カブリオレを最も高い要求にもかなうプレミアム・カーに仕立てています。アッパー・クラスに属する新世代のオープン 2+2 ツーシーターは、ラグジュアリー・セダン BMW 7シリーズに使用している新開発の車両構造をベースにしています。ニューBMW 6シリーズ カブリオレは、ニューBMW 5シリーズ セダン、ニューBMW 5シリーズ ツーリング、BMW 5シリーズ グラン・ツーリズモ、そしてBMW 7シリーズの各モデルと共に BMW のディンゴルフイン工場で製造されます。この製造コンセプトにはコンポーネントの共用化も含まれており、加工材料に関して最高レベルの水準を適用すると同時に、高効率の生産性をもたらしています。

バイエルン北東部のディンゴルフインにあるこの BMW 工場は、1967 年以降、今では 13 カ国、24箇所の工場を含む BMW のグローバル生産ネットワークに属しています。1973年には、この自動車コンポーネントを製造する拠点に BMW の完成車を生産する BMW プラント 2.4 が統合されました。この世界最大の BMW 工場は、数多くの賞を授与されていることからもその突出した水準を証明しています。これまでに合計 700 万台の BMW 製自動車がディンゴルフイン工場を後にしています。この工場では 18,600 人が製造に従事しており、そのうち約 12,000 人以上がプラント 2.4 での車両製造にたずさわっています。

1976 年には、ディンゴルフインで初代の BMW 6シリーズが製造されました。第二世代のモデル・シリーズも、2004 年に導入された BMW 6シリーズ カブリオレを含めて、この拠点の生産ラインから送り出されました。このモデルによって、BMW ディンゴルフイン工場はカブリオレ製造のノウハウを獲得しました。このノウハウは、1985 年、初代の BMW 3シリーズにまで遡ることができます。

最高の品質と効率性を統合した生産

生産の品質と効率性は、BMW 7シリーズ、BMW 5シリーズ、そしてBMW 6シリーズ カブリオレのための製造／モジュラー・プロセスからの恩恵を受けています。共通開発した車両構造が、統合型生産のベースです。柔軟性の高い生産ラインを調整することにより、各生産ラインは常に市場の需要に合わせ、工場の全生産の中での比率を調整できるようになっています。こうして工場の生産量はいつも同じ高いレベルを保ち、かつお客様への迅速な納車を約束します。その際、いわゆる顧客志向の販売生産プロセス(Customer Oriented Sales and Production Process)の KOVP システムによって、どの車両も納期通りに、お客様それぞれの希望に合わせて製造することが可能になり、同時に生産工程での効率性を高める大きな可能性が生じます。

モジュール構造と呼ばれるモジュール式の車両コンポーネントを使用することで、さらにシナジー効果(相乗効果)が得られます。これらのコンポーネントは、基本のコンセプトを共有しており、モデル専用装備としても、また仕様を変更してニューBMW 6 シリーズ カブリオレにも使用することができます。これらのコンポーネントの機能性と品質は、ラグジュアリー・セダン BMW 7 シリーズに求められる極めて高い要求に合わせて開発されています。一例をあげると、アクスル・キャリアは各モデル共通で装備できるように開発され、各シリーズのトレッド幅にあわせて取り付け穴が用意されています。エア・コンディショナーに関しては、様々なモジュールの組み合わせにより、顧客の目には見えないところで装備に応じてBMW 6 シリーズ カブリオレにも、BMW 5 シリーズ、BMW 7 シリーズの各モデル シリーズにも装備できるようになっています。

最高の品質 - あらゆる細部で最初から

BMW の厳しい品質基準を最初から確実に満たすため、工場ではすでにニュー・モデルの量産が開始される 1 年以上も前から、800 種以上の異なる部品とモジュールの精密性を、1:1 モデル車両で検査します。

この重量約 3 トンのいわゆるキュービング・モデルは、開発データに基づき、重厚かつ収縮性のないアルミニウムで作られ、0.1 ミリの精密さを誇ります。数々の修正を重ねて、サプライヤー企業と共にまずプロトタイプ、その後最初の量産コンポーネントがモデル車に装備され、量産時におけるひとつひつの部品の正確さを確認します。コンポーネントを生産するために、引き続きサプライヤー企業でも BMW が開発・製造した金型あるいは装置を使用しています。

生産工程におけるたゆまぬ進歩

BMW ディングルфин工場では、車両の生産工程を開発する際にも最新の知識を活用しています。このため BMW グループは、付加価値創造志向の生産システム(WPS)の原理にしたがっています。顕著な一例として、モジュラー・プロセスがあります。BMW 7 シリーズ、BMW 5 シリーズ、ニューBMW 6 シリーズ カブリオレに共通のコンポーネントを基本にして、生産プランを構築する際に、生産のスペシャリストによって規格化された生産工程、1 つの生産ラインで異なるモデルを最高品質に仕上げる生産工程を組み合わせています。この種のモジュラー・プロセスとして、例えばサスペンション・アームの取り付けやフロント・エンドとフロア・パネルのボディへの取り付けなどがあります。生産工程におけるさらなる進歩は、付加価値創造志向のテクノロジー・プロセス(WTP)とロジスティックです。ここで目指しているのは、ワン・ピース・フロー(One piece flow)と呼ばれる、サプライヤーから車両の完成まで、部品供給を一貫してコントロールする方法です。

ソフトトップやロールオーバー・プロテクション・システムのようなカブリオレ固有の部位の組立ては、メイン・ラインに組み入れて行われます。その場合の重点は、ソフトトップの取付けプロセスと調整プロセスの組み合わせです。このコンポーネントに関しては、車両は地域ごとの試験プロセスを通過します。納車品質の高さは、気密性試験と走行特性試験によって確保されています。

ボディ製造における革新的な生産工程

複数のモデルを生産する場合は部品点数が多くなるため、それを解決するための革新的な生産技術を開発しています。BMW 7 シリーズ、BMW 5 シリーズ、そして BMW 6 シリーズ カブリオレのドアの製造プロセスは、ディングルфинに置かれているBMW グループ・アルミニウム・コンペテンス・センターによる研究結果と革新的開発に基づいています。新開発されたアルミ加工技術は、サイド・ドアのキャラクター・ラインのような高品位のデザインを精密にモデリングするための基礎となっています。ドア内部に使用されているアルミ製プレート・シェルが大きな負荷を分散し、高い剛性を約束します。結合技術には、レーザー溶接と構造接着、そしていわゆるクリンチ加工を使用しています。

スチール・パネルの加工にも、BMW ディングルфин工場では革新的な手法を採用しています。製作に約 5,000 万ユーロを投資した 2 基の新しいスチール・パネル用プレス機が、今後ニューBMW 6 シリーズ カブリオレのボディ部品にも素晴らしい品質を与えることでしょう。ディングルфин工場では、BMW は自動車メーカーとして世界で初めてプレス・ハードニング(熱間プレス加工)と呼ばれる技術を採用しています。その方法は、亜鉛メッキ鋼板をまず常温で成型し、その後 900 度以上に熱します。その後、水冷装置を内蔵した金型を使い数秒間、約 70 度まで冷却して硬化させます。この方法により、部品剛性は従来の鋼板の 3 倍から 4 倍に向上します。

この驚くほど高い生産効率・エネルギー効率の実現には、新たに工場に導入した ProgDie という高速プレス機も一役買っています。この高速プレス機は、この種のものとしては世界最大の装置の 1 つに数えられ、複数の作業工程を統合することによって、毎分 40 ストロークで 160 個の部品を生産します。その際、最初のスタンピングから様々な絞り工程を経てスタンピング部品のプレスまで、21 種類の作業工程を同時に進行します。挿入された原材料は直接ロール状の鋼板で供給され、作業工程が進むたびに金型の中に押し込まれます。この生産方法は、材料の有効利用もでき、必要なエネルギーを大幅に削減することができます。従来のプレス方法と比べ、年間約 500 万キロワット時の電気を節約します。

プラスチック性サイド・パネルとトランク リッドもインライン塗装プロセスで処理

フロント・フェンダーに熱可塑性プラスチックを使用し、トランク・リッドとソフトトップ収納リッド用素材としてグラスファイバー複合材料の SMC(シート・モールディング・コンパウンド)を使用するに際し、軽量化、特殊なデザイン的要求、革新的プロセスによる柔軟な生産性などを互いに組み合わせます。SMC の使用により、表面の成形においてスチール・コンポーネントで可能なレベルを超える自由度が得られます。さらに、トランク・リッドとソフトトップ収納リッドは、非常に耐熱性の高い新開発の熱可塑性プラスチックで作られたサイド・パネルと同様、BMW ディングルフィン工場のインライン塗装プロセスに組み込まれています。つまり、これらのコンポーネントはあらかじめボディ・シェルに取り付けておき、他のボディ部分と一緒に塗装することができます。

13 主要諸元

BMW 640i カブリオレ、 BMW 650i カブリオレ



	BMW 640i カブリオレ	BMW 650i カブリオレ
ボディ		
ドア数／座席数	2/4	2/4
全長／全幅／全高(空車時)	mm 4894/1894/1365	4894/1894/1365
ホイールベース	mm 2855	2855
トレッド幅 フロント／リア	mm 1600/1657	1600/1657
最低地上高	mm 123	123
最小回転直径	m 11.7	11.7
燃料タンク容量	約(L) 70	70
ヒーターを含む冷却システム	L 9.3	11.4
エンジン・オイル ¹⁾	L 6.5	8.5
車両重量(DIN/EU)	kg 1840/1915	1940/2015
積載量(DIN)	kg 450	450
許容総重量	kg 2290	2390
許容軸荷重 フロント／リア	kg 1100/1290	1180/1310
許容牽引荷重(12%)	kg -/-	-/-
ブレーキ付き／ブレーキなし		
許容ルーフ積載荷重／許容サポート荷重	kg -/-	-/-
ラゲージ・ルーム容量	L 300-350	300-350
空気抵抗	cd × A 0.31 × 2.23	0.32 × 2.23
エンジン		
型式／気筒数／バルブ数	直列/6/4	V90/8/4
エンジン・テクノロジー	BMW ツインパワー・ターボ、 ダイレクト・インジェクション、 無段階可変バルブ・リフト量制御シ ステム(バルブトロニック)	BMW ツインパワー・ターボ、 ダイレクト・インジェクション
排気量	cc 2,979	4395
ストローク／ボア	mm 89.6/84.0	88.3/89.0
圧縮比	: 1 10.2	10.0
燃料		RON 91 以上
最高出力	kW/ps 235/320	300/407
発生回転数	rpm 5800-6000	5500-6400
最大トルク	Nm 450	600
発生回転数	rpm 1300-4500	1750-4500
電装品		
バッテリー／取付け位置	Ah/-	90/ラゲージ・ルーム
オルタネーター	A/W	210/2,940
ドライビング・ダイナミクスと安全性		
フロント・サスペンション	ロワー・ウイッシュボーン・アーム・レベルを分離したダブル・ウイッシュボーン・アーム式フロント・アクスル、 アルミニウム構造、スマート・スクラブ・ラジアス、アンチ・ダイブ	
リア・サスペンション	インテグラル V リア・アクスル、アルミニウム構造、操舵機能付き、アンチ・スクアットおよびアンチ・ダイブ、 音響的に二重に遮断	
フロント・ブレーキ	シングル・ピストン・アルミ製フローティング・キャリパー式ディスク・ブレーキ、フレーム構造	
直径	mm 348 x 30 / ベンチレーテッド	374 x 36 / ベンチレーテッド
リア・ブレーキ	シングル・ピストン・アルミ製フローティング・キャリパー式ディスク・ブレーキ	
直径	mm 345 x 24 / ベンチレーテッド	345 x 24 / ベンチレーテッド
スタビリティ・コントロール・システム	標準装備: ABS、ASC および DTC を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレー キ・アシスタンス DBC、ドライ・ブレーキ機能、フェード補正、坂道発進アシスタン ト オプション: アダプティブ・ドライブ	
安全装備	標準装備: 運転席および助手席エアバッグ、運転席および助手席コンビネーション・ヘッド・エアバッグ付き サイド・エアバッグ、全座席の 3 点式 ELR オートマチック・シートベルト、前席シート内蔵式シートベルト・テ ンショナー、ベルト・フォース・リミッター付き、前席の衝撃感応式アクティブ・ヘッドレスト、ロールオーバー・ プロテクション・システム、クラッシュ・センサー、タイヤ・パンク表示機能	
ステアリング	サポートロニック機能付き電気機械式パワー・ステアリング(EPS)、 オプション: パワフル・スポーツ・ステアリング	
ステアリング総変速比	: 1 17.1	17.1
タイヤ フロント／リア	225/55 R17 97Y RSC	245/45 R18 96Y RSC
リム フロント／リア	8J x 17 LM	8J x 18 LM

BMW 640i カブリオレ			BMW 650i カブリオレ
BMW コネクテッド・ドライブ			
快適機能	オプション装備: BMW Assist(照会サービス、リモート機能および V-Info+)、BMW テレサービス、モバイル端末機器の統合		
インフォテイメント機能	オプション装備: インターネット・アクセス、BMW オンライン(駐車場情報、ローカル情報)、Google 地域情報検索、ニュース、リアルタイム天気予報、BMW Routes、オフィス機能、Bluetooth によるオーディオ・ストリーミングおよびミュージック・タイトルのオンライン・アップデート		
安全機能	オプション装備: コーナリング・ライト付きアダプティブ・ヘッドライト、パリアブル・ライト・ディストリビューションおよびアダプティブ・ヘッドライト・レンジ・コントロール、ハイビーム・アシスタン、パーク・ディスタンス・コントロール、トップ・ビューおよびサイド・ビュー機能付きリア・ビュー・カメラ/サラウンド・ビュー、歩行者検知機能付き BMW ナイト・ビジョン、ヘッドアップ・ディスプレイ、パーキング・アシスタン、レーン・チェンジ・ウォーニング、レーン・ディバーチャー・ウォーニング、スピード・リミット・インフォ、オートマチック/拡張エマージェンシー・コール		
トランスミッション			
トランスミッション型式	ステップトロニック付き 8 速オートマチック・トランスミッション		
変速比	1 速	:1	4.714
	2 速	:1	3.143
	3 速	:1	2.106
	4 速	:1	1.667
	5 速	:1	1.285
	6 速	:1	1.000
	7 速	:1	0.839
	8 速	:1	0.667
	リバース	:1	3.295
最終減速比		:1	3,232
			3,077
走行性能			
パワー・ウェイト・レシオ	kg/kW	7.8	6.5
リッターあたり出力	kW/L	78,9	68,3
加速性能	0-100km/h	秒	5.7
	0-1000m	秒	25,2
4 速追い越し加速	80~120 km/h	秒	-
最高速度	km/h	250	250
BMW EfficientDynamics			
標準仕様の BMW EfficientDynamics 対策	エネルギー回生インジケーター付きブレーキ・エネルギー回生システム、オート・スタート・ストップ機能(BMW 640i)、インテリジェント・ライトウェイト構造、補機類のオンデマンド制御、エアフラップ・コントロール(BMW 640i)、エレクトリック・パワー・ステアリング(EPS)、エア・コンディショナー・コンプレッサー分離クラッチ付き、低ころがり抵抗タイヤ		
EU テスト・サイクルでの燃費			
市街地	L/100km	10.9	15.5
郊外	L/100km	6.2	7.9
合計	L/100km	7.9	10.7
CO ₂ 排出量	g/km	185	249
排ガス基準		EU5	
保険等級			
KH/VK/TK		2)	

本主要諸元は ACEA(欧州自動車工業会)市場に適用されるものです／登録関連の一部データはドイツにのみ適用されるものです(重量)

1) オイル交換量

2) 本諸元作成時においてデータ未発表